

凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

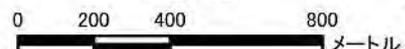
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

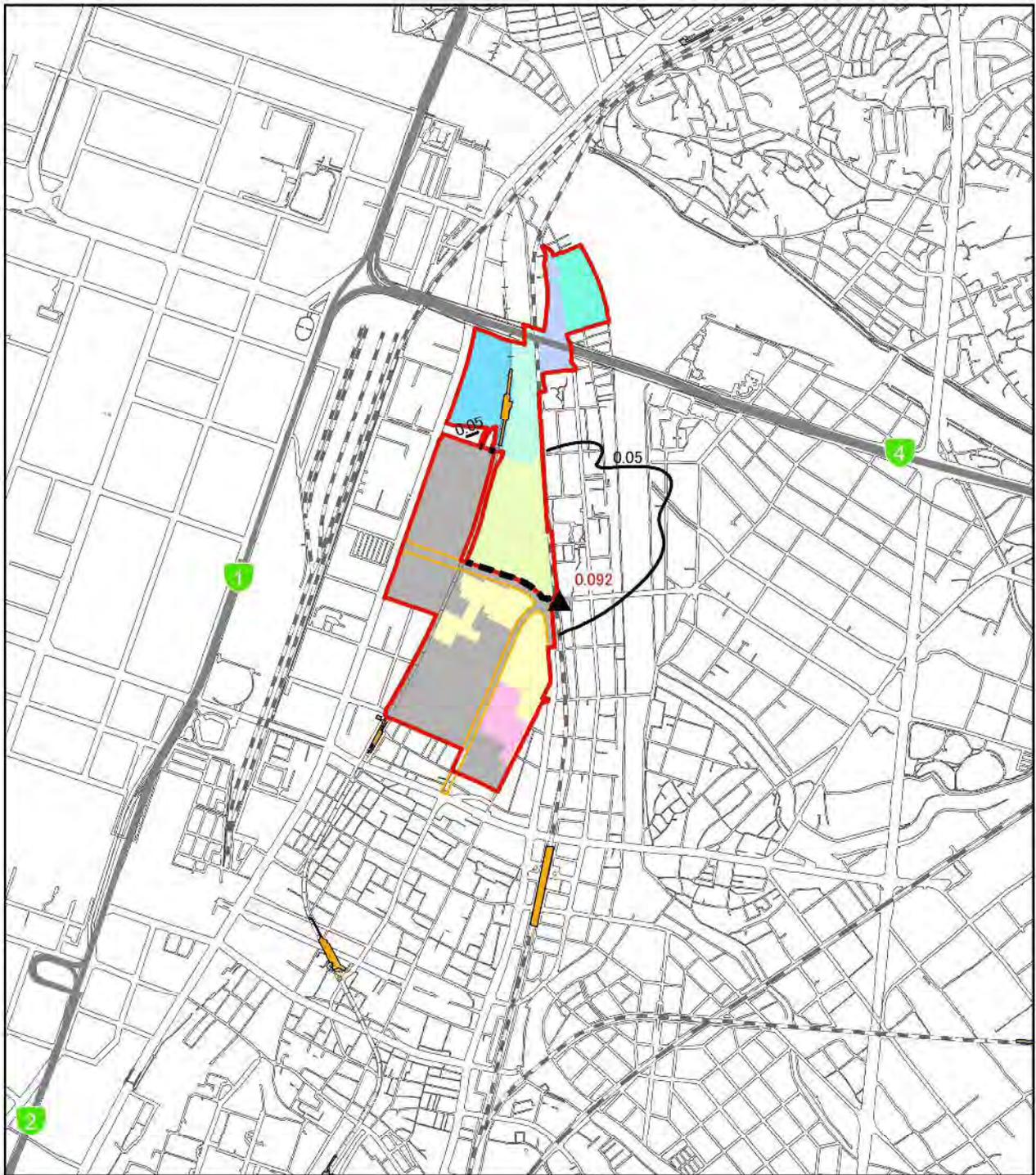
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向W 大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-1 (1) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向W 大気安定度D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

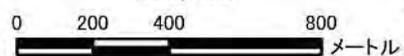
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

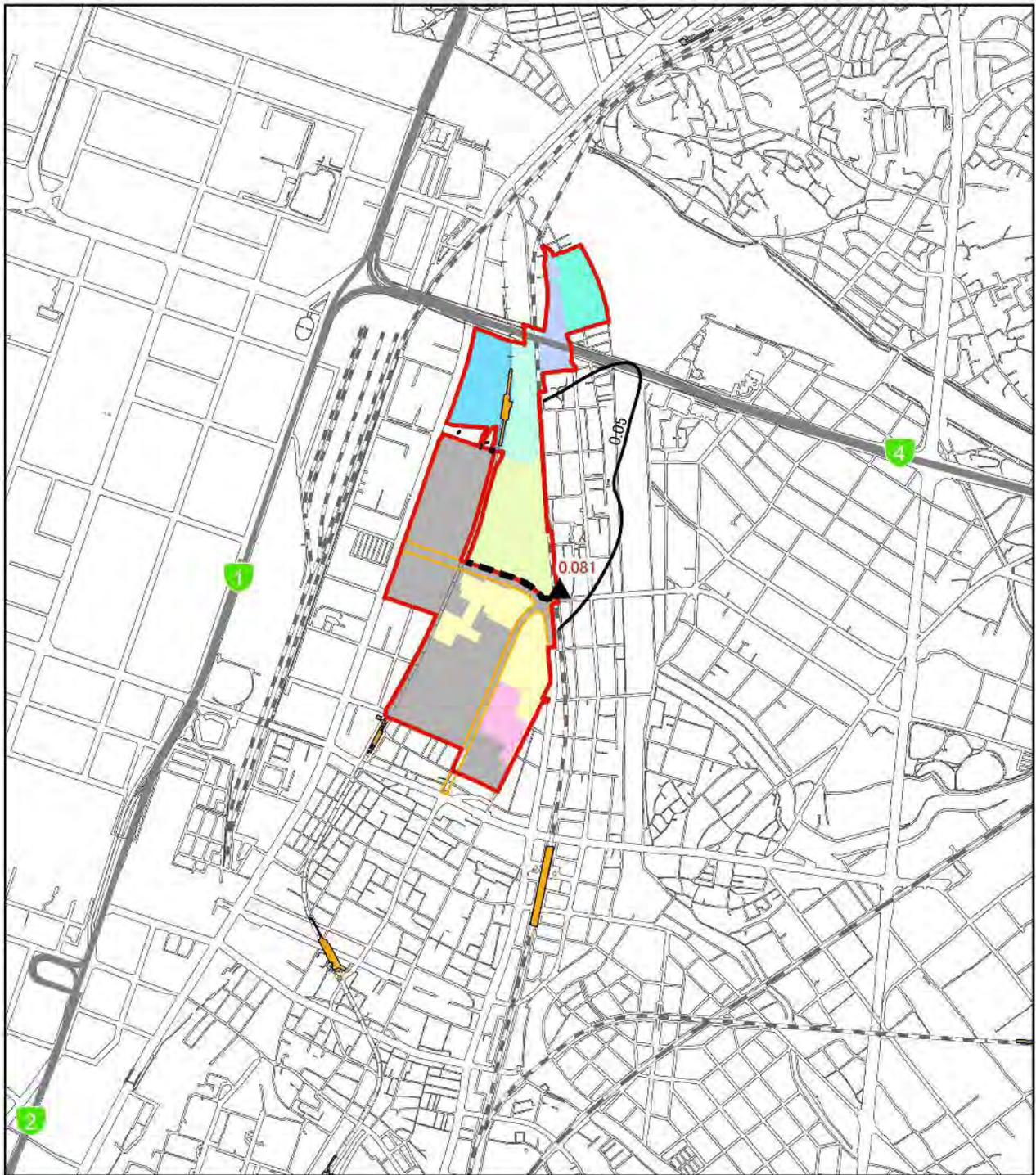
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向WSW 大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1 (2) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向WSW 大気安定度D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

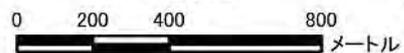
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

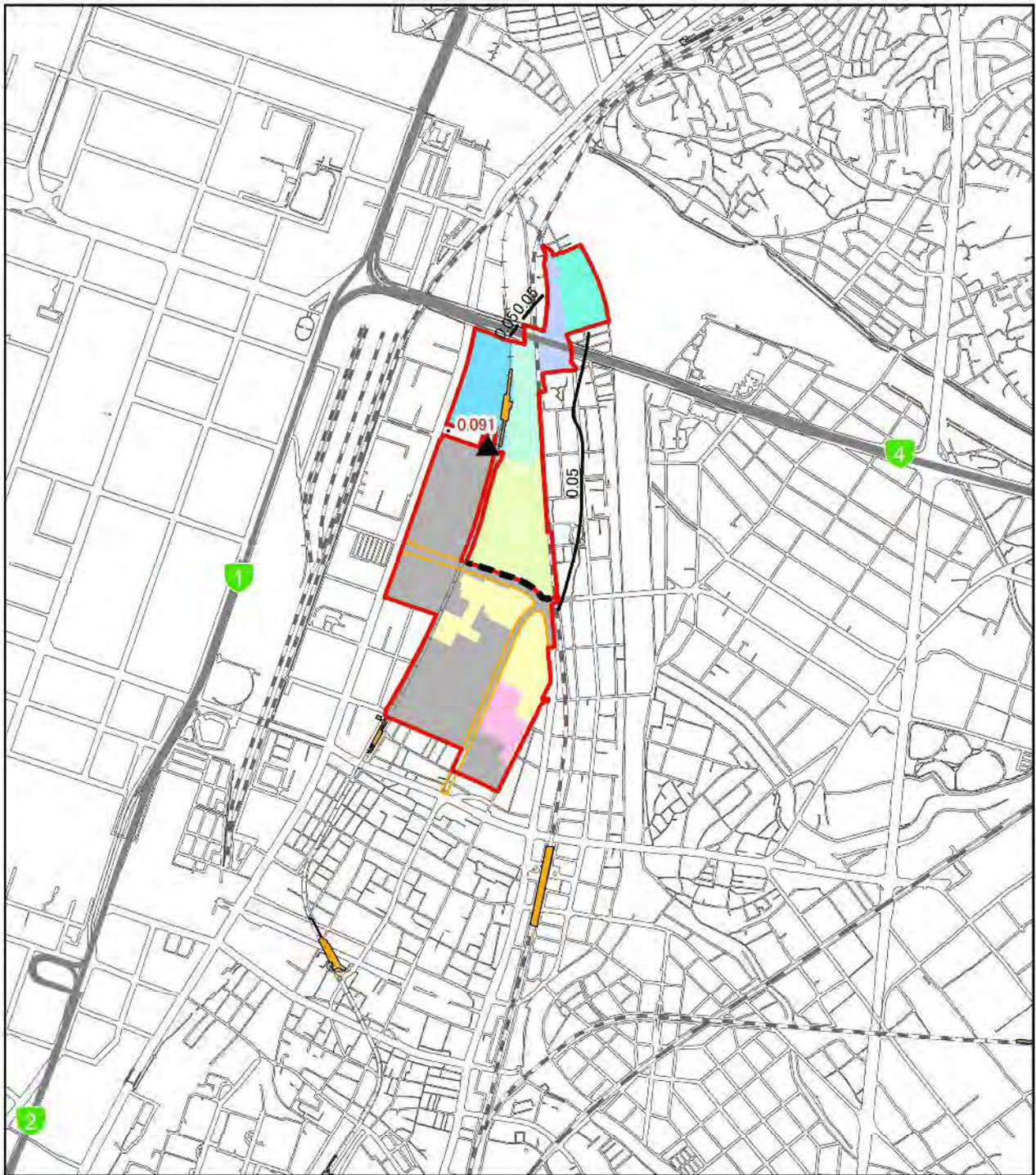
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 SW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-1 (3) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 SW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

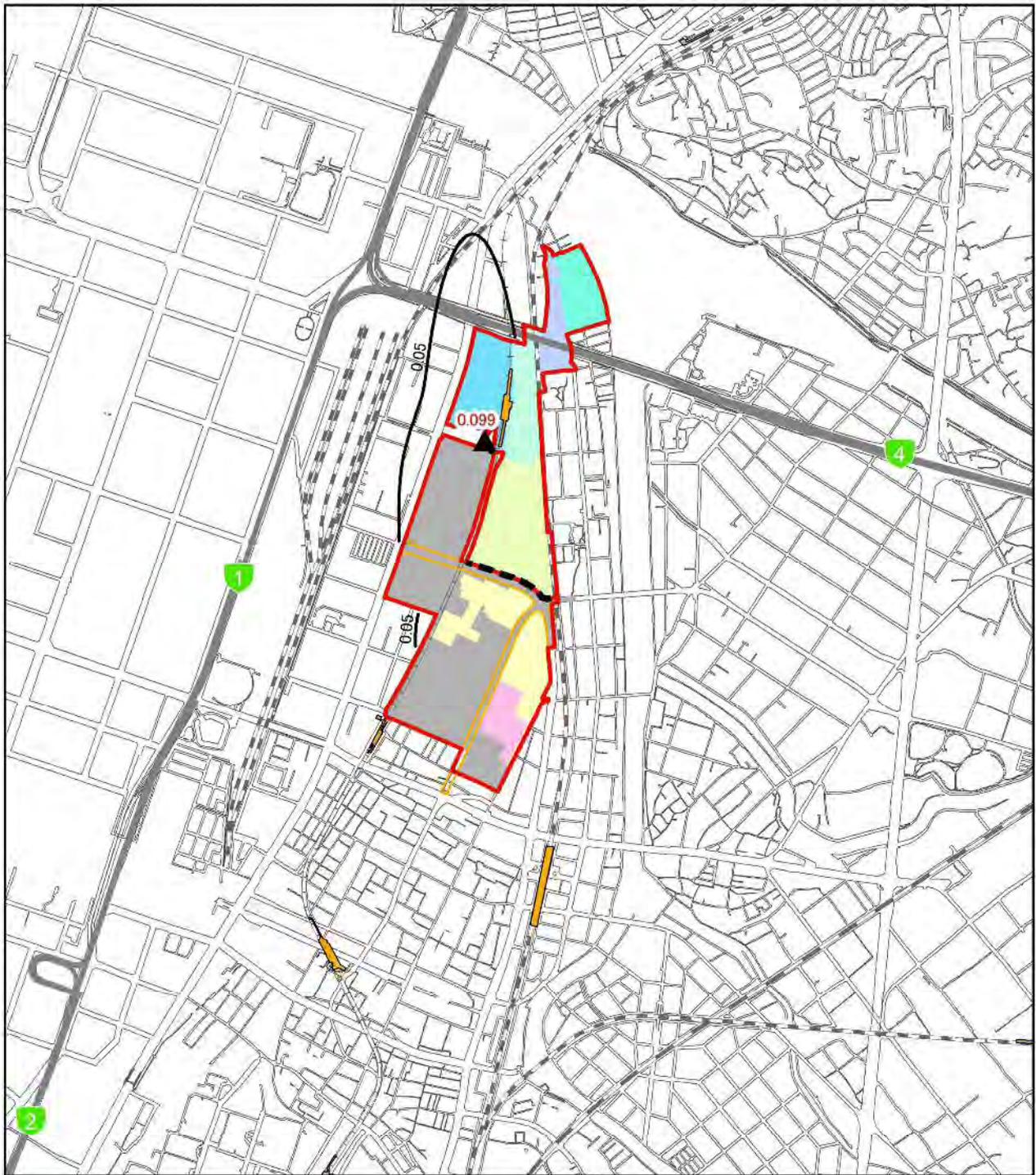
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向SSW大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1(4) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向SSW大気安定度D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

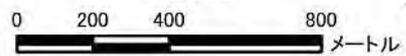
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

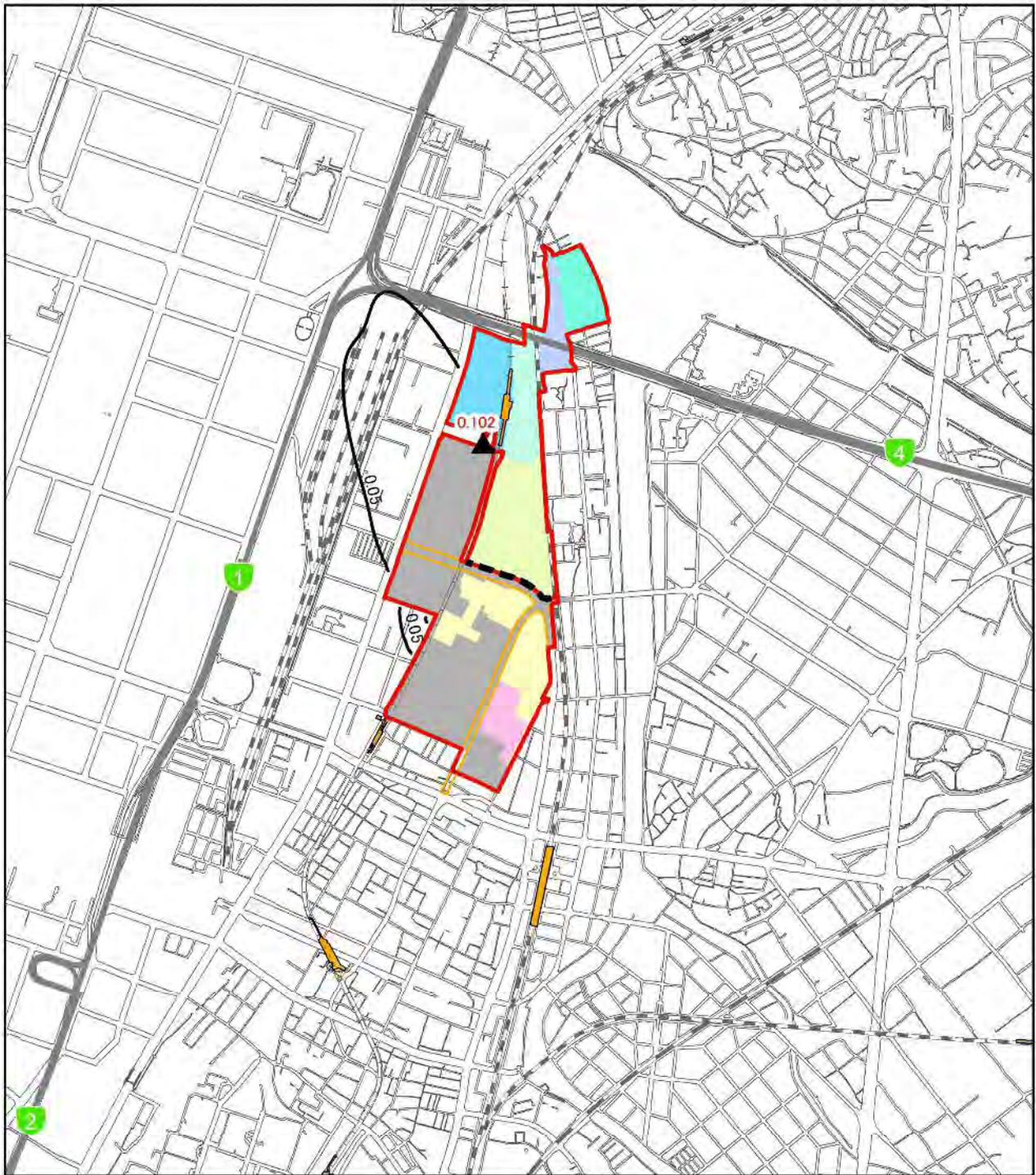
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 S 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-1(5) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 S 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

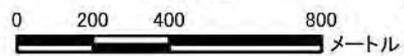
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

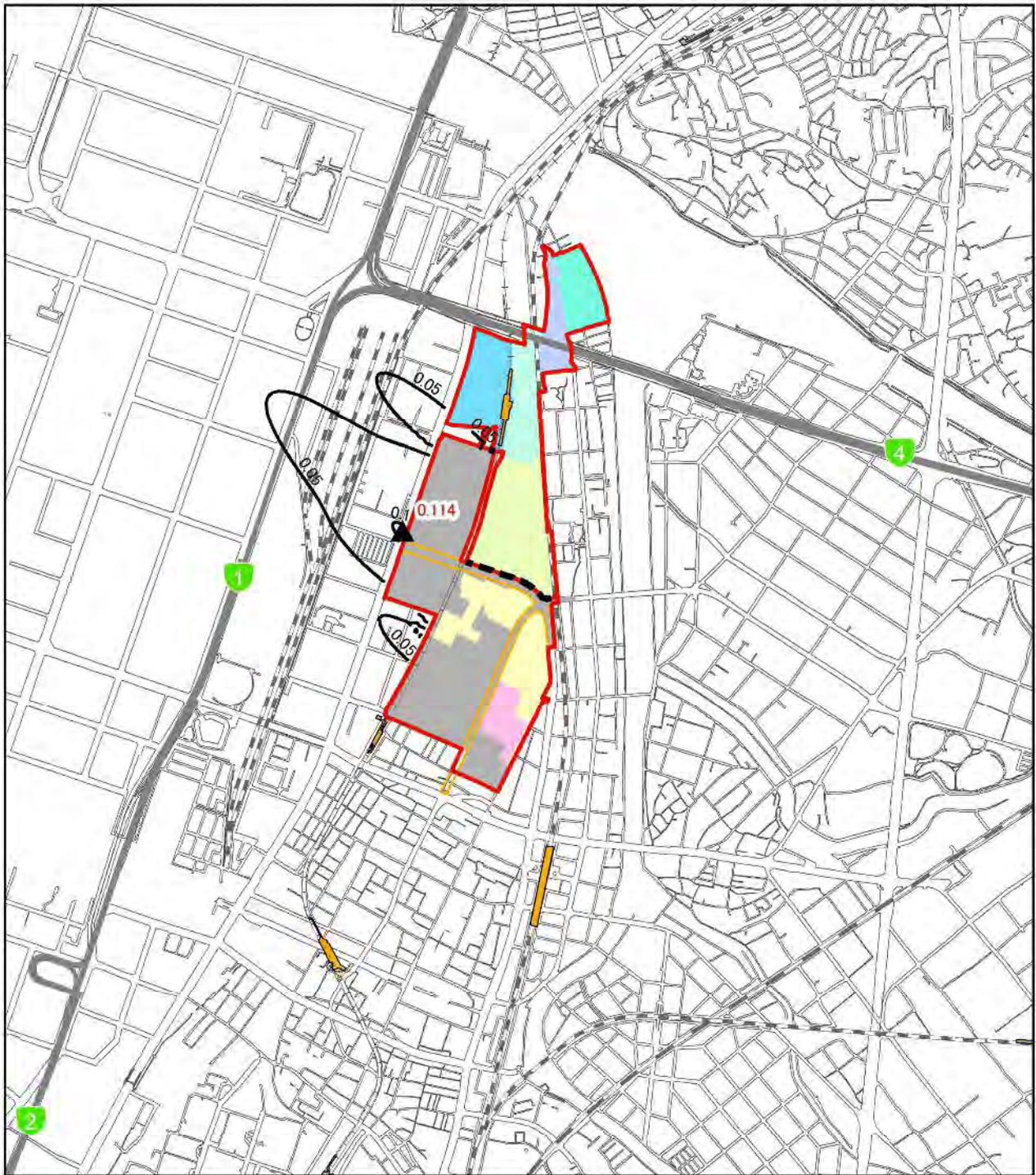
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 SSE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-1(6) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 SSE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

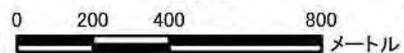
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

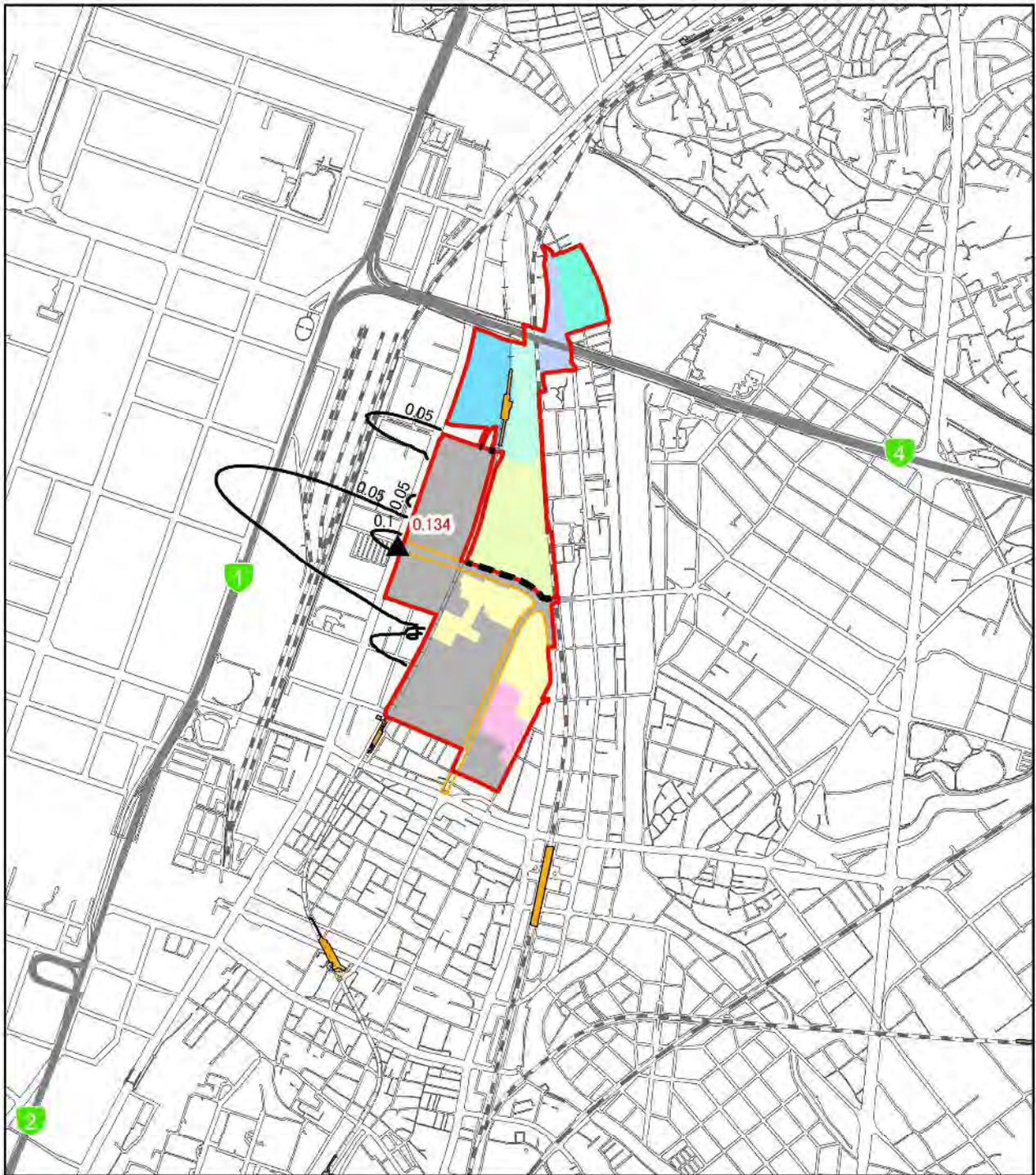
1:20,000



▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)  
 — 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 SE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
 バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³ である。

図 1-1 (7) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
 (1時間値):風向 SE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

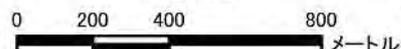
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

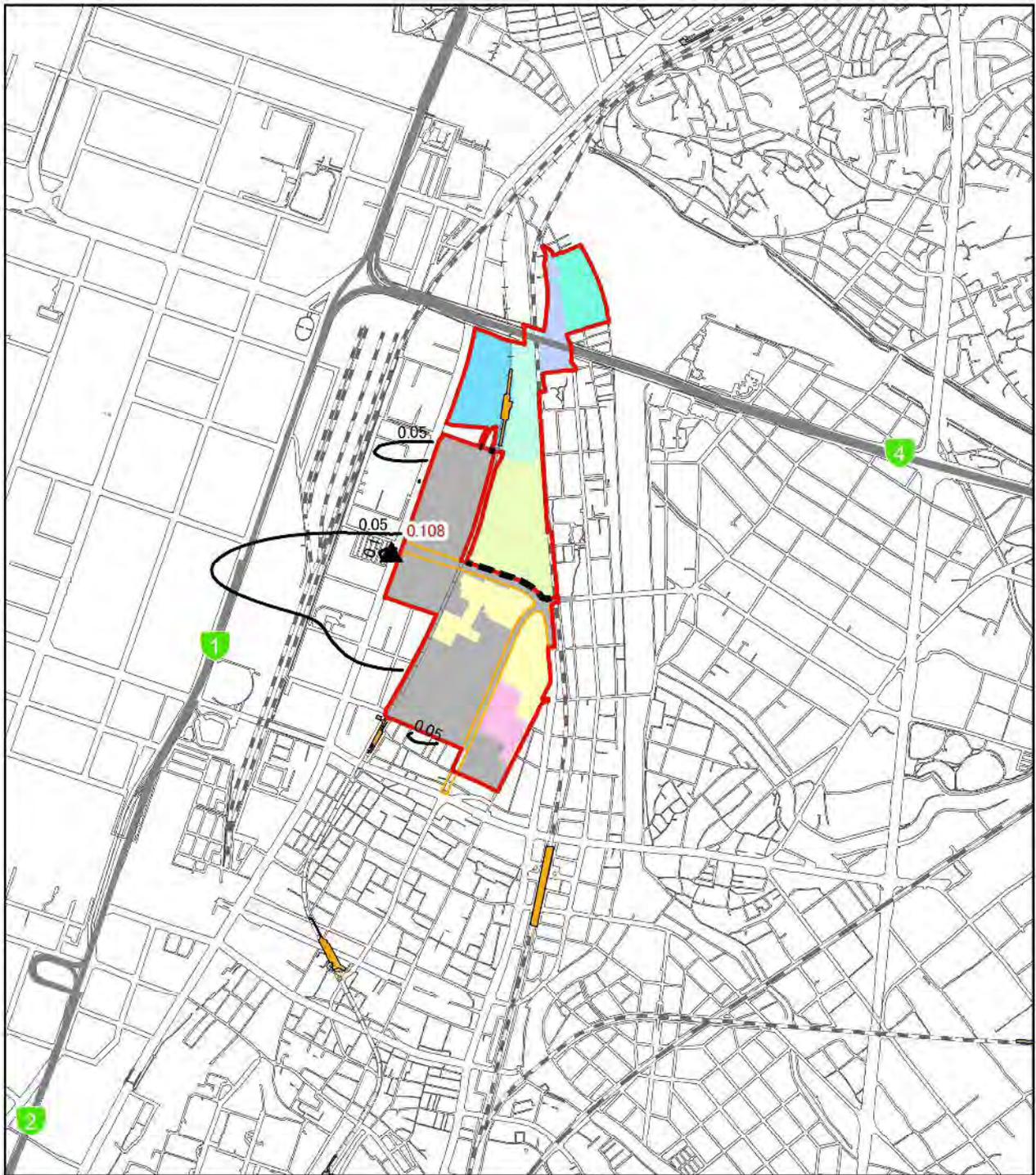
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 ESE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³ である。

図 1-1 (8) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 ESE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

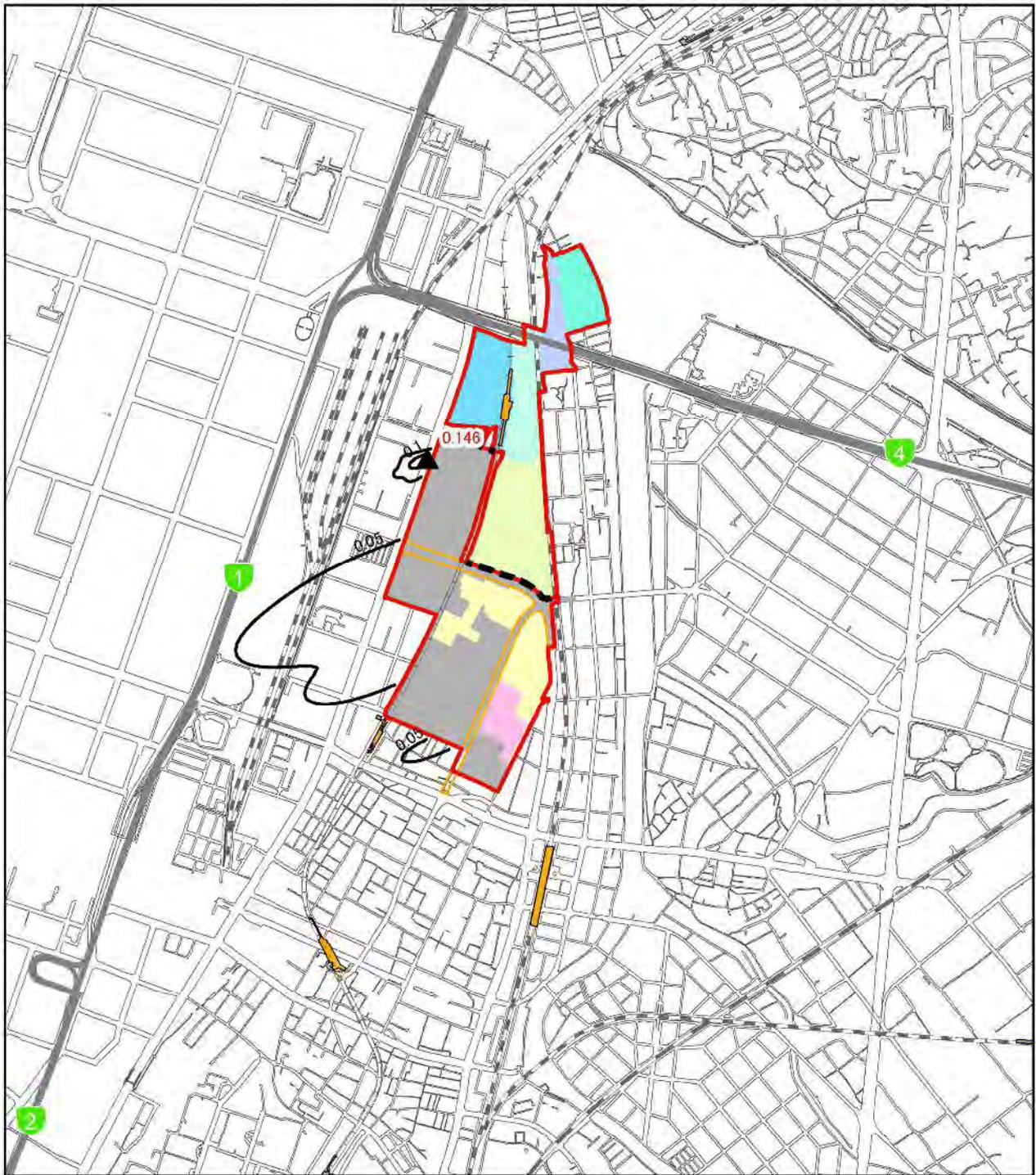
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向E 大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1 (9) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向E 大気安定度D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

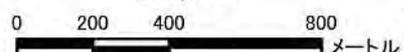
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

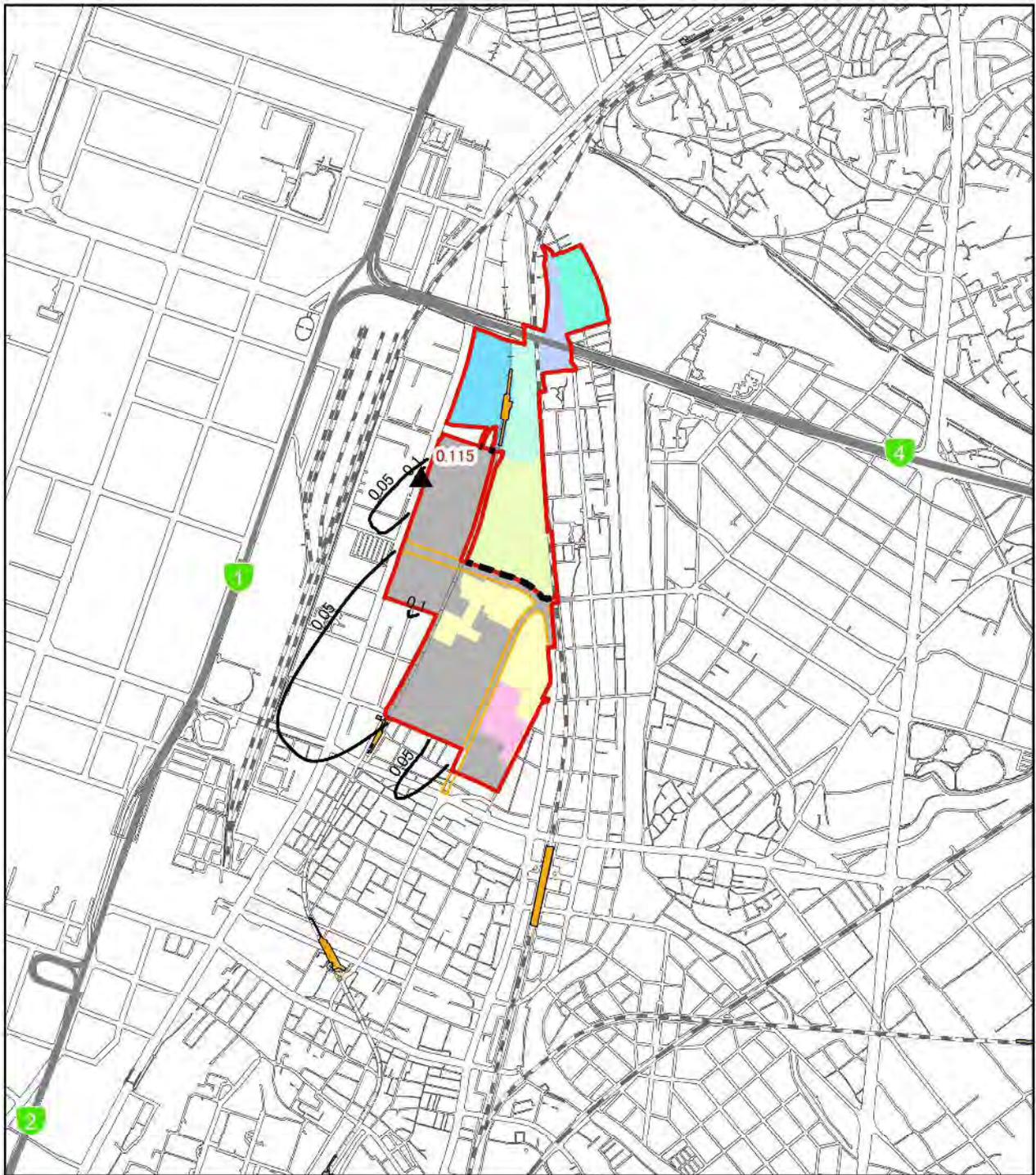
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 ENE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³ である。

図 1-1 (10) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果 (1時間値):風向 ENE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

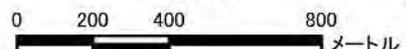
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

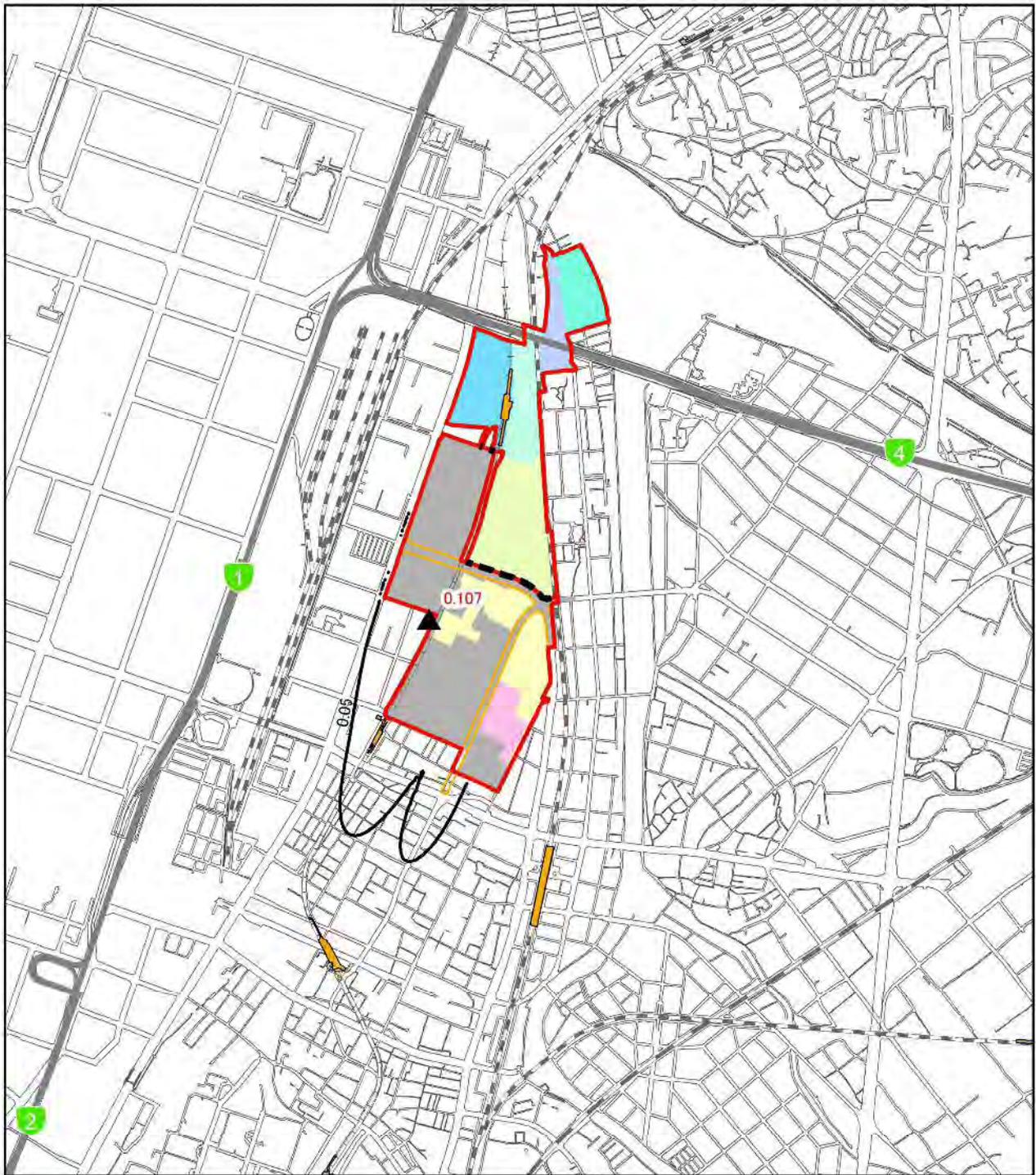
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 NE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³ である。

図 1-1(11) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

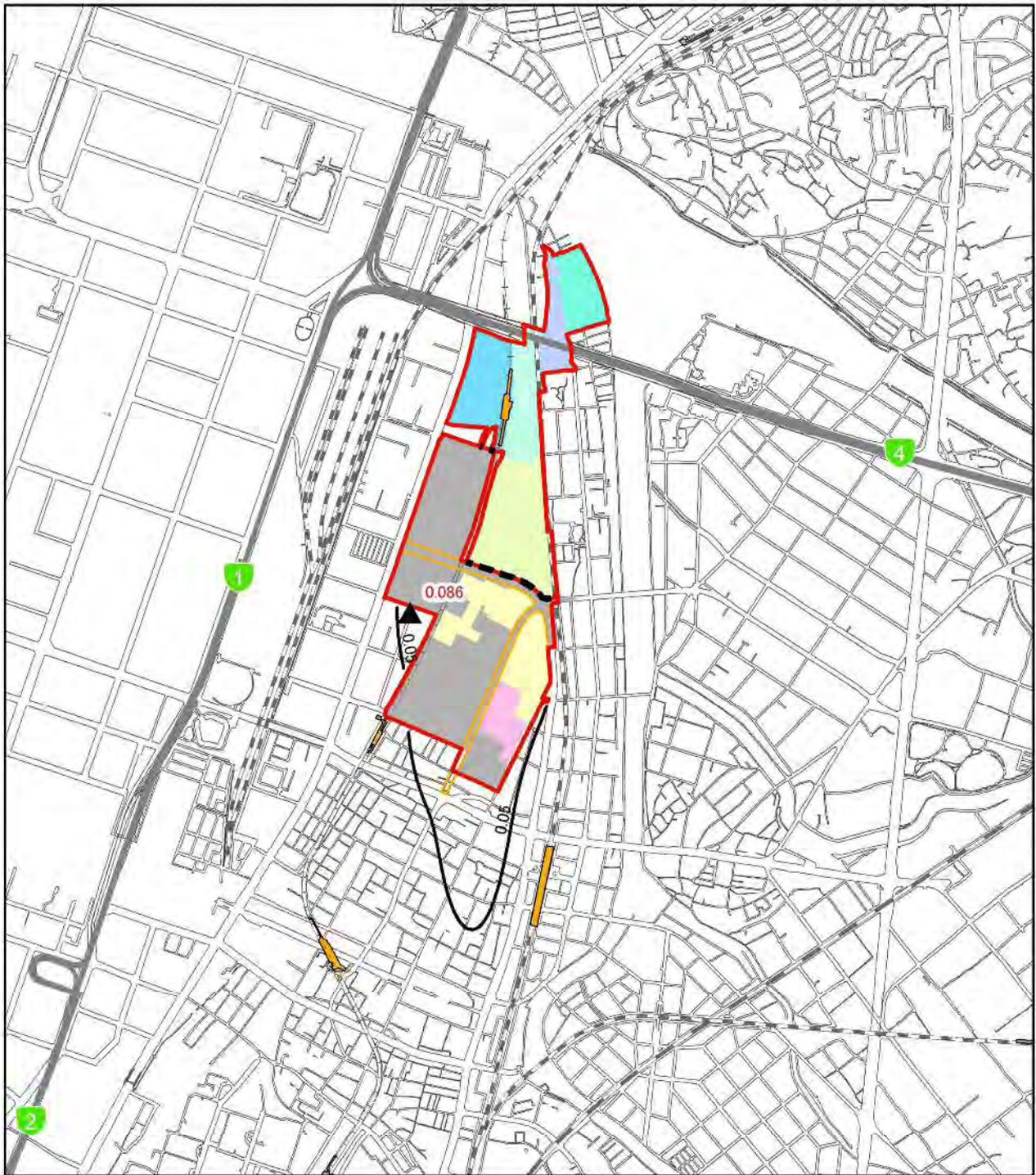
0 200 400 800 メートル



▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)  
 — 二酸化窒素濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 NNE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
 バックグラウンド濃度は 0.033mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-1 (12) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
 (1時間値):風向 NNE 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

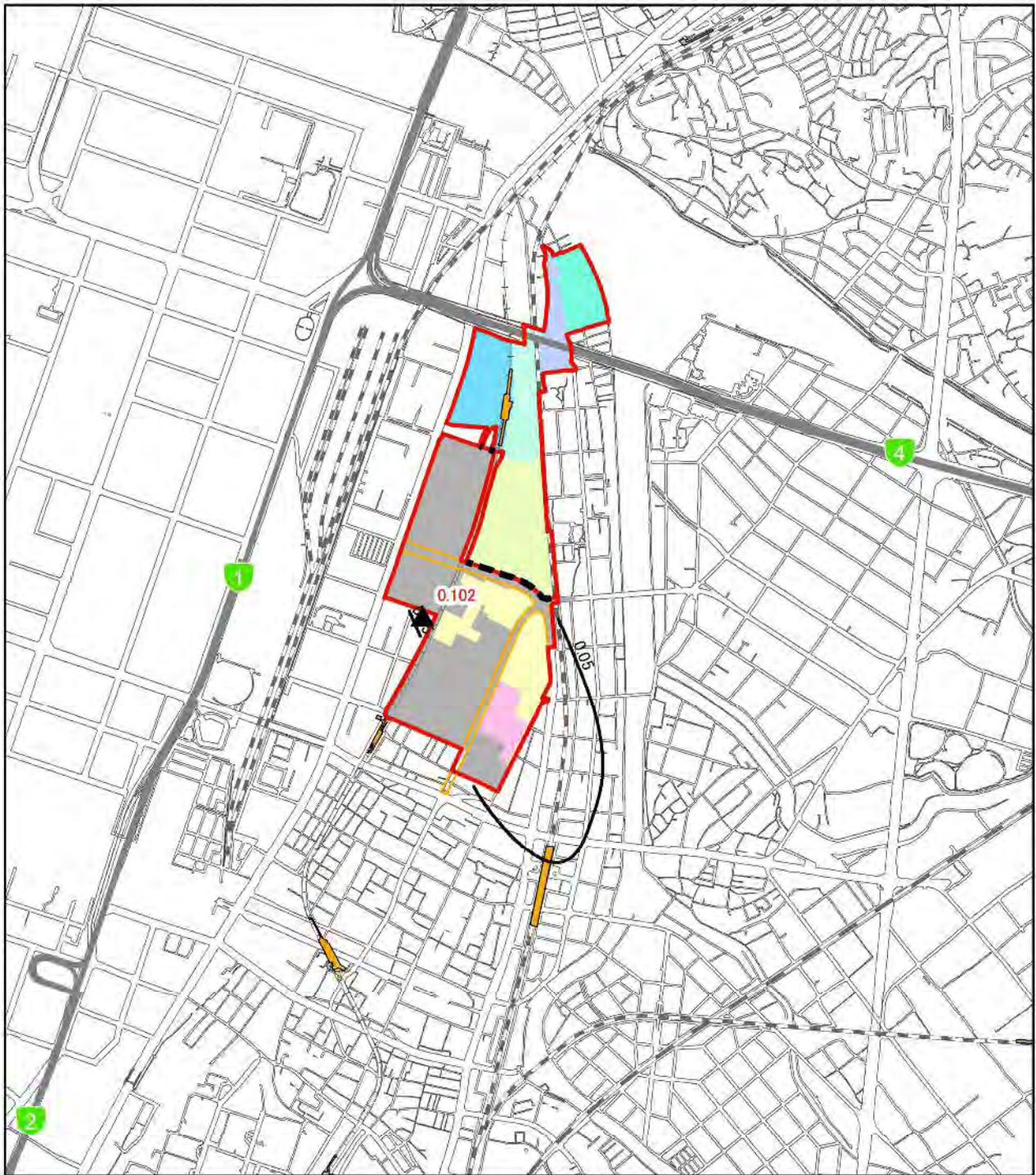
0 200 400 800 メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 N 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-1 (13) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 N 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

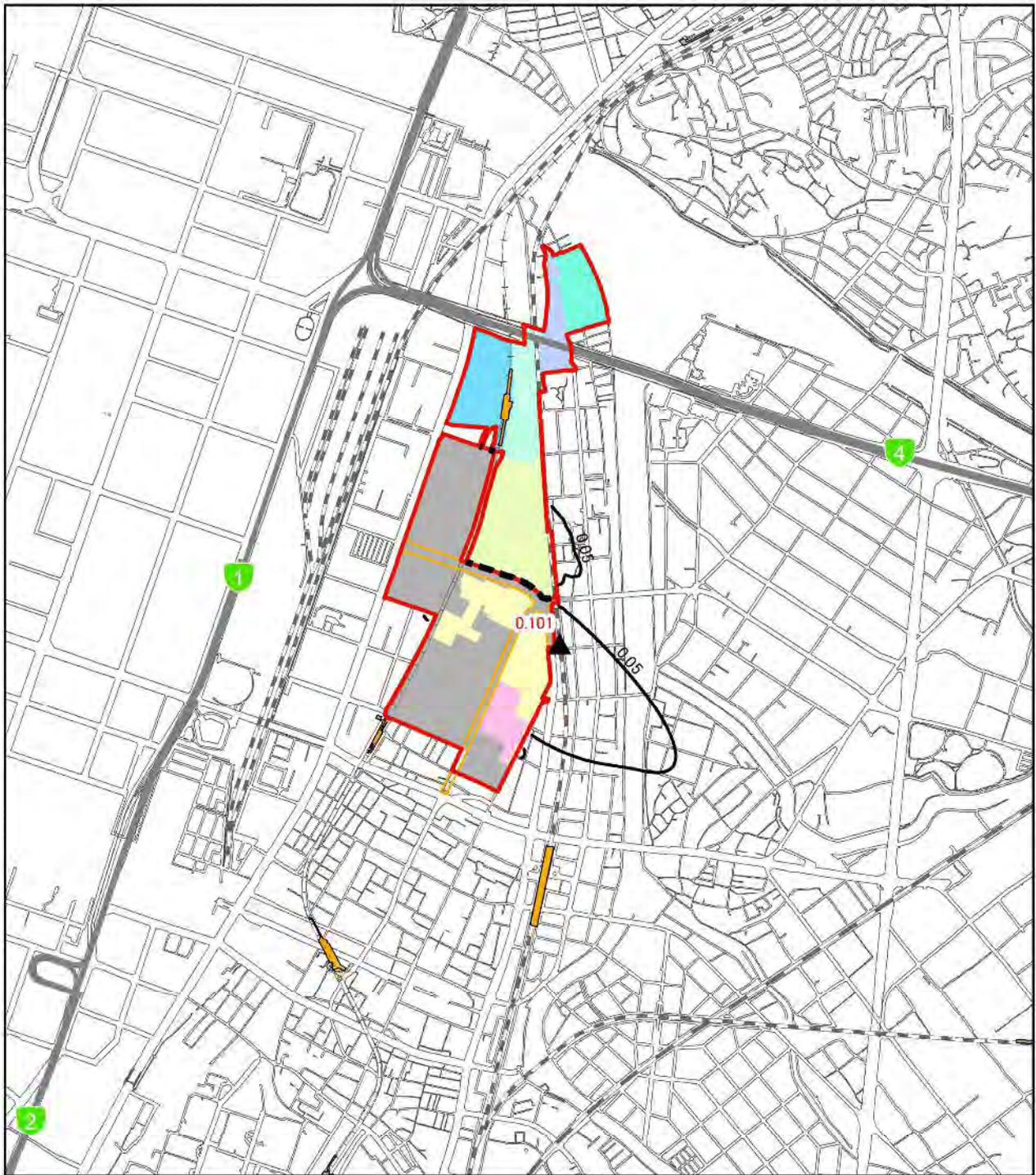
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 NNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1 (14) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NNW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

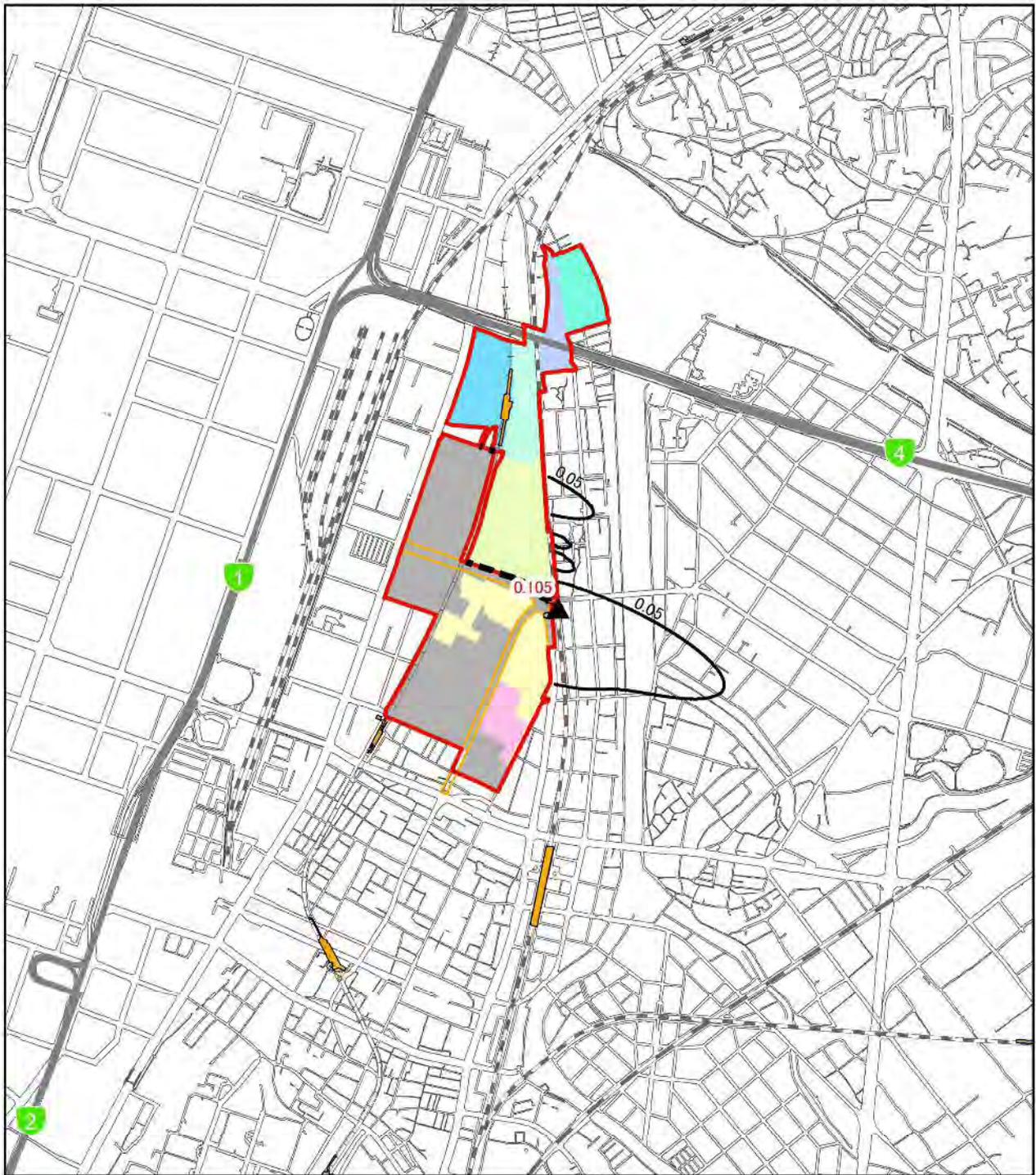
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 NW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-1 (15) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

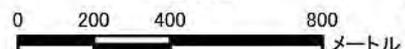
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

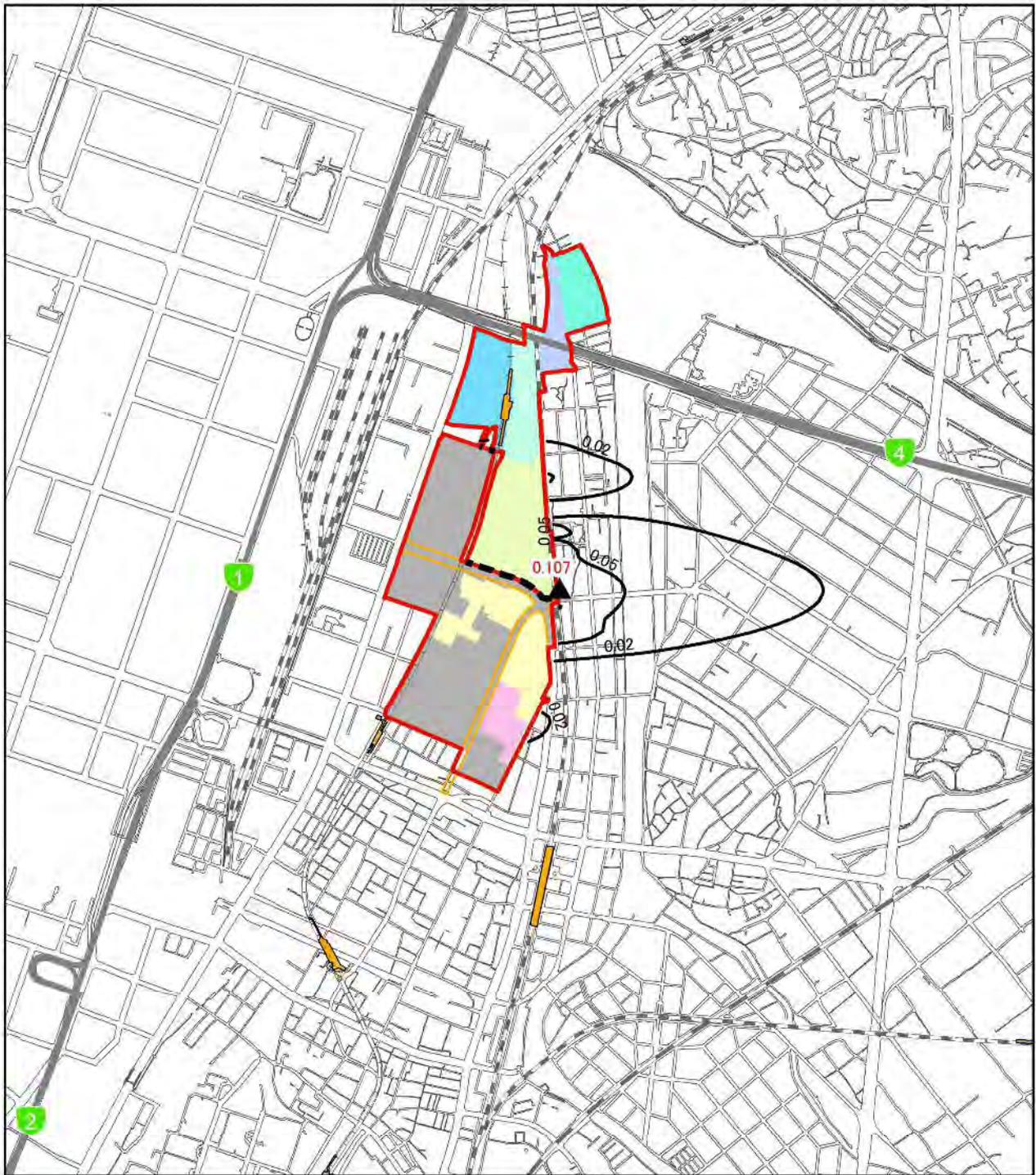
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 WNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-1 (16) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 WNW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

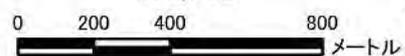
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

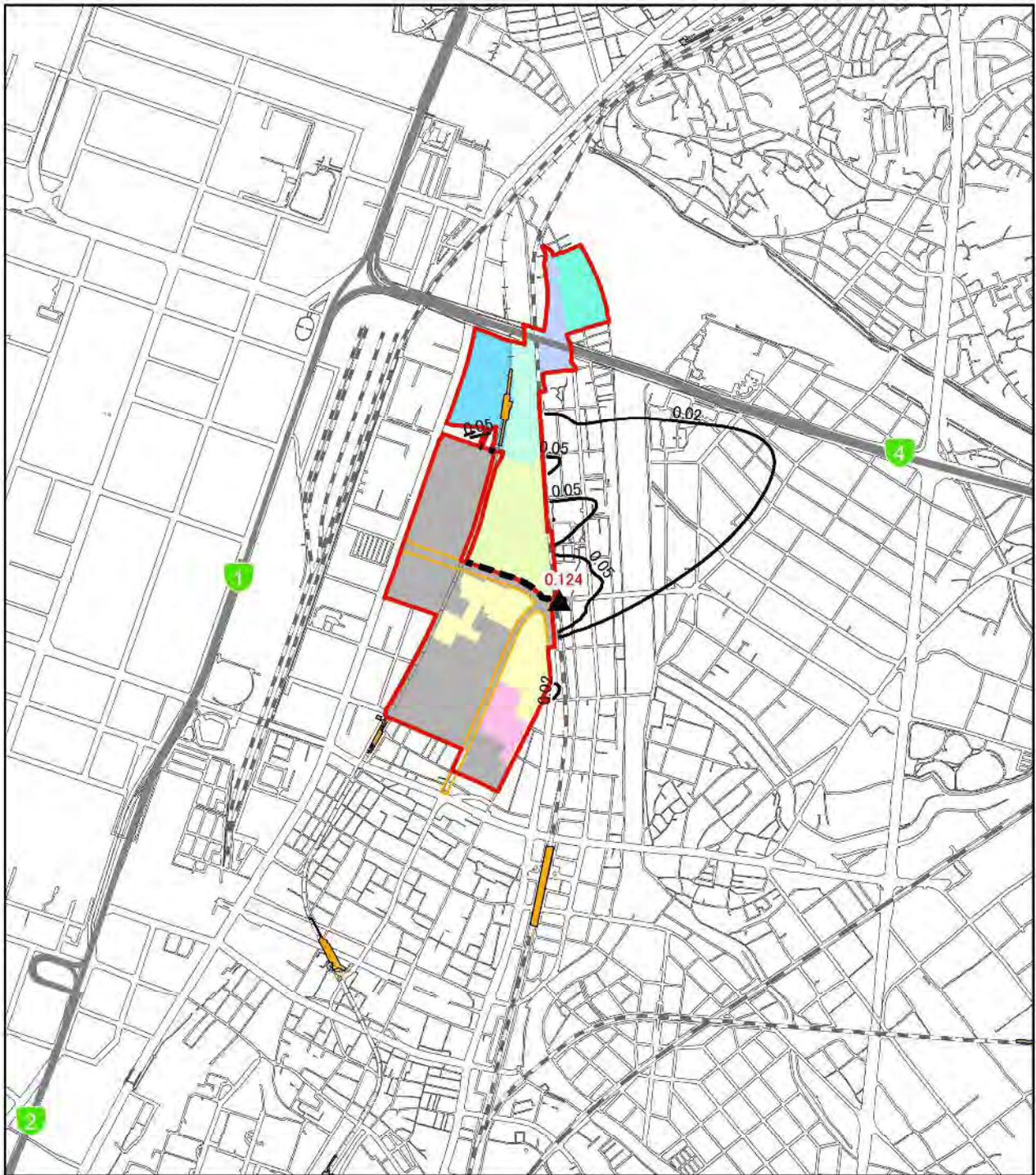
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 W 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(1) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 W 大気安定度 D



凡例

■ 事業実施区域

--- 北エリア・南エリア境界

— 福岡都市高速

— 都市計画道路 (関連事業)

■ 駅

— JR

— 新幹線

— 私鉄

— 地下鉄

工区割り

■ 北1工区

■ 北2工区

■ 北3工区

■ 北4工区

■ 北5工区

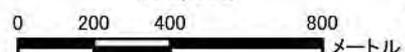
■ 南3工区

■ 近代建築物活用ゾーン

施工区域

■ 2021年度

1:20,000

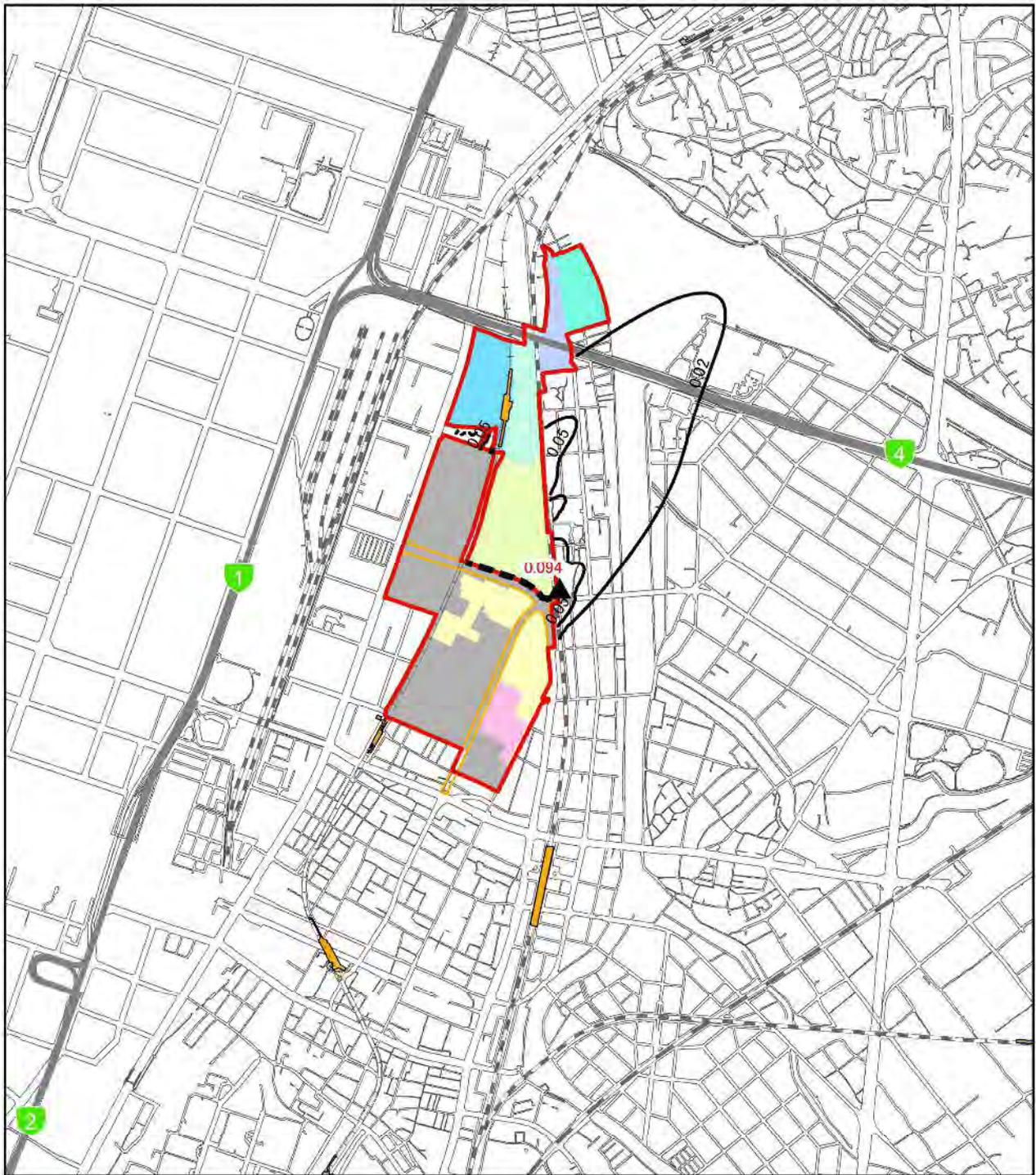


▲ 最大着地濃度地点 (赤字:濃度)

— 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 WSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(2) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値):風向 WSW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

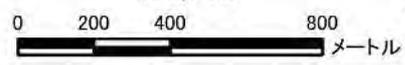
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

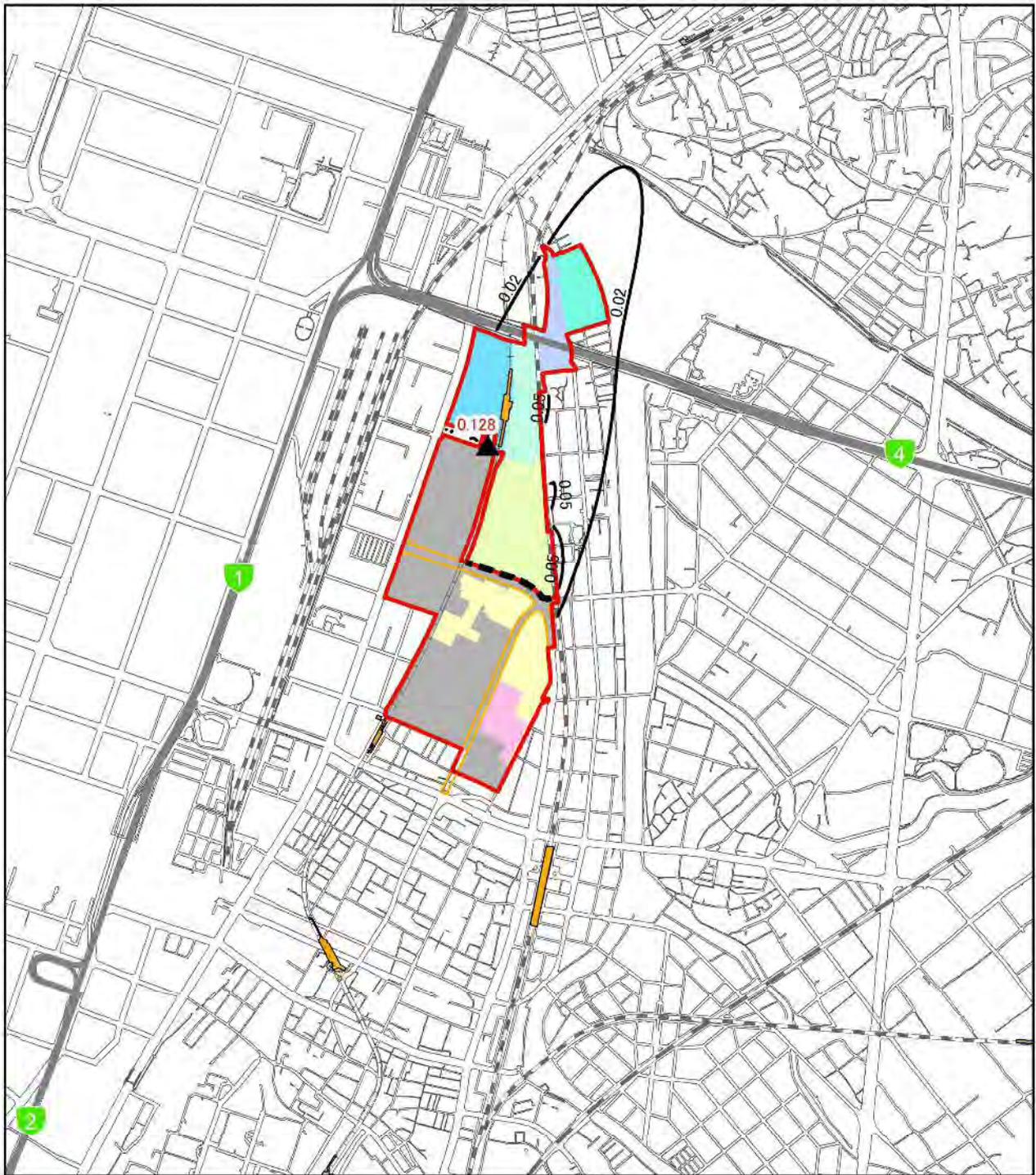
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m³): 風向 SW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m³ である。

図 1-2(3) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 SW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

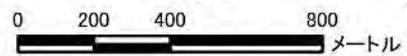
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

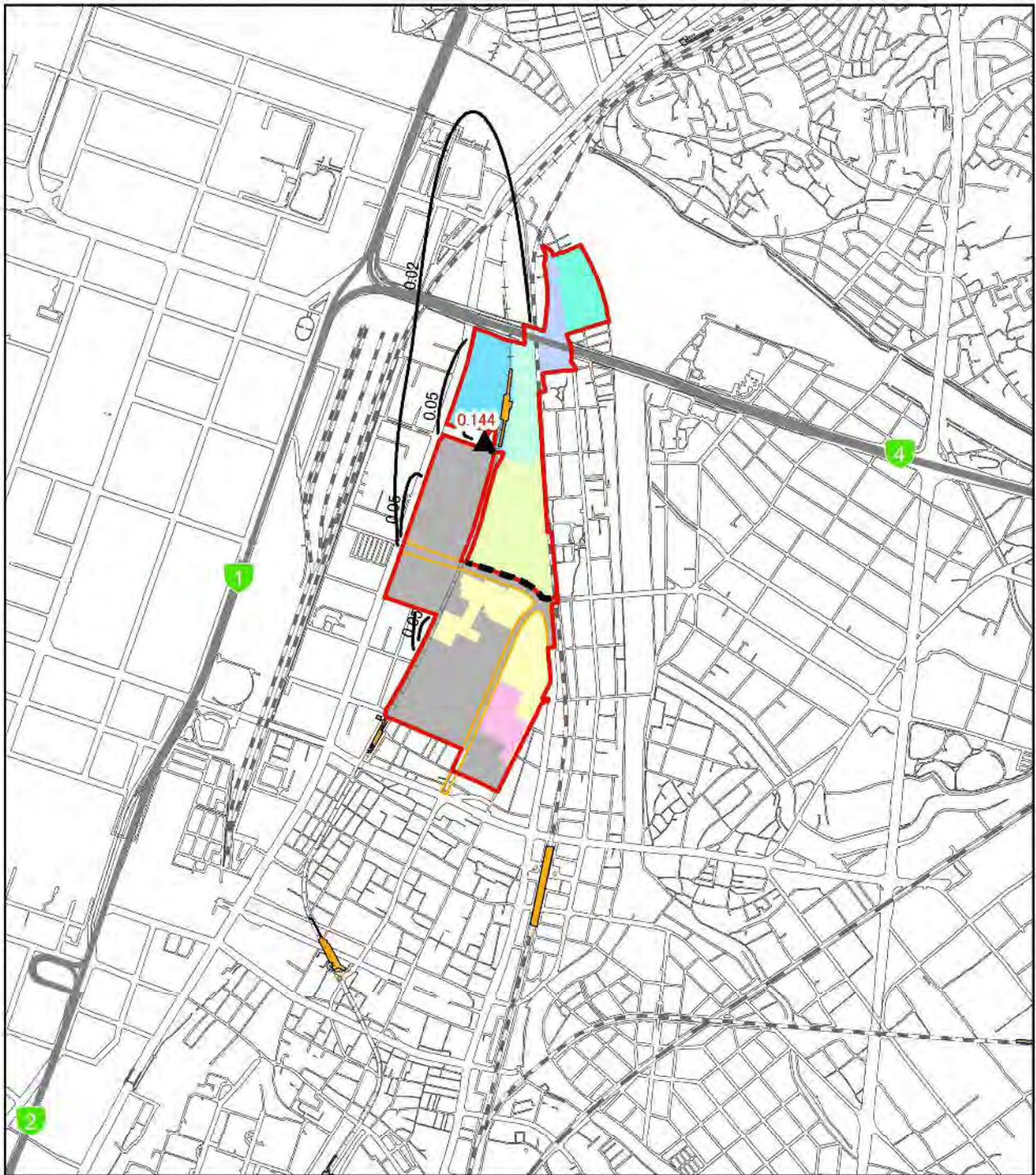
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 SSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(4) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 SSW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

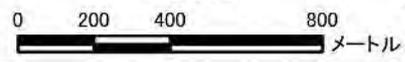
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

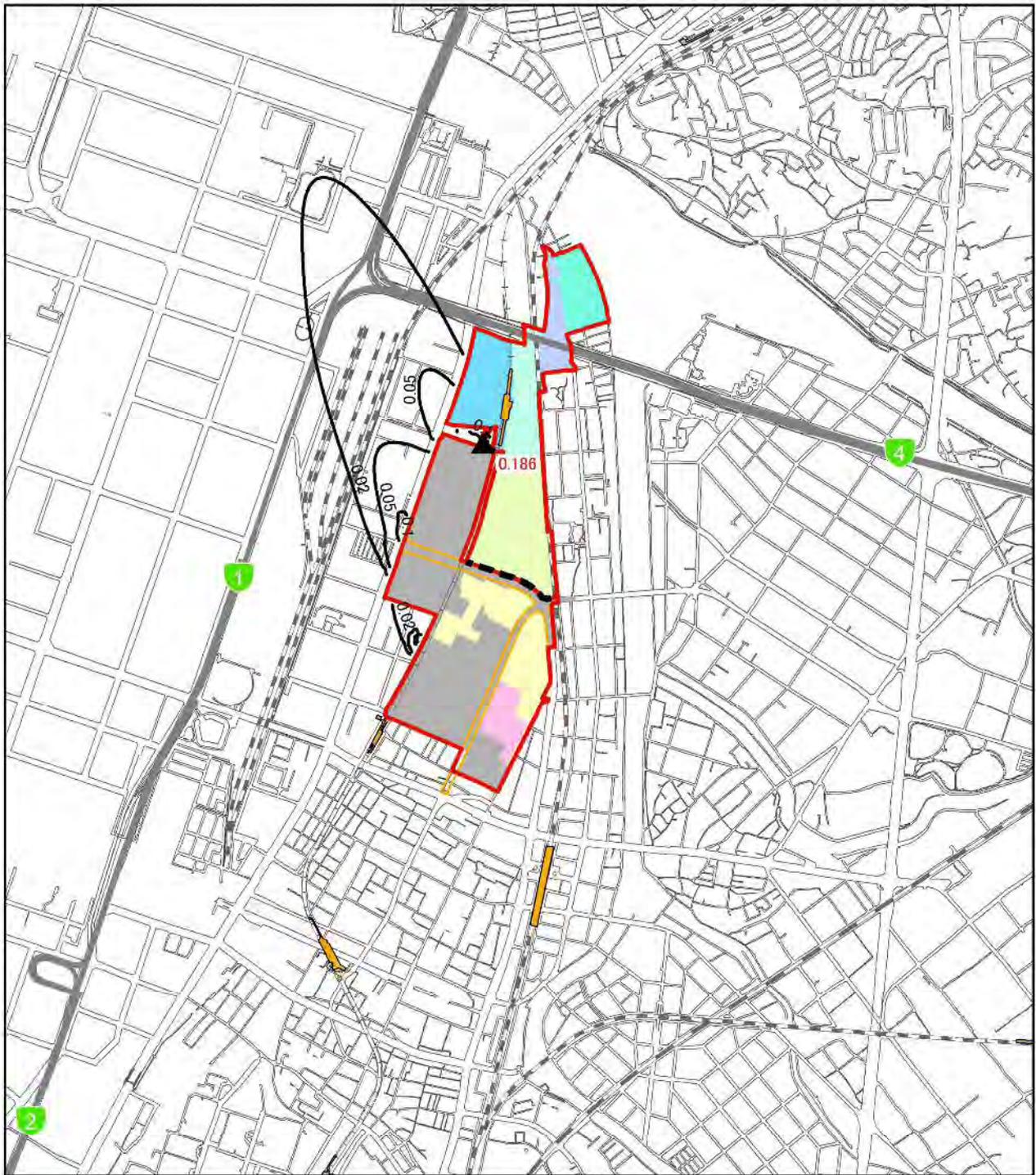
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向S大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(5) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向S大気安定度D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

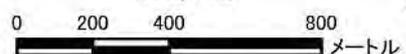
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

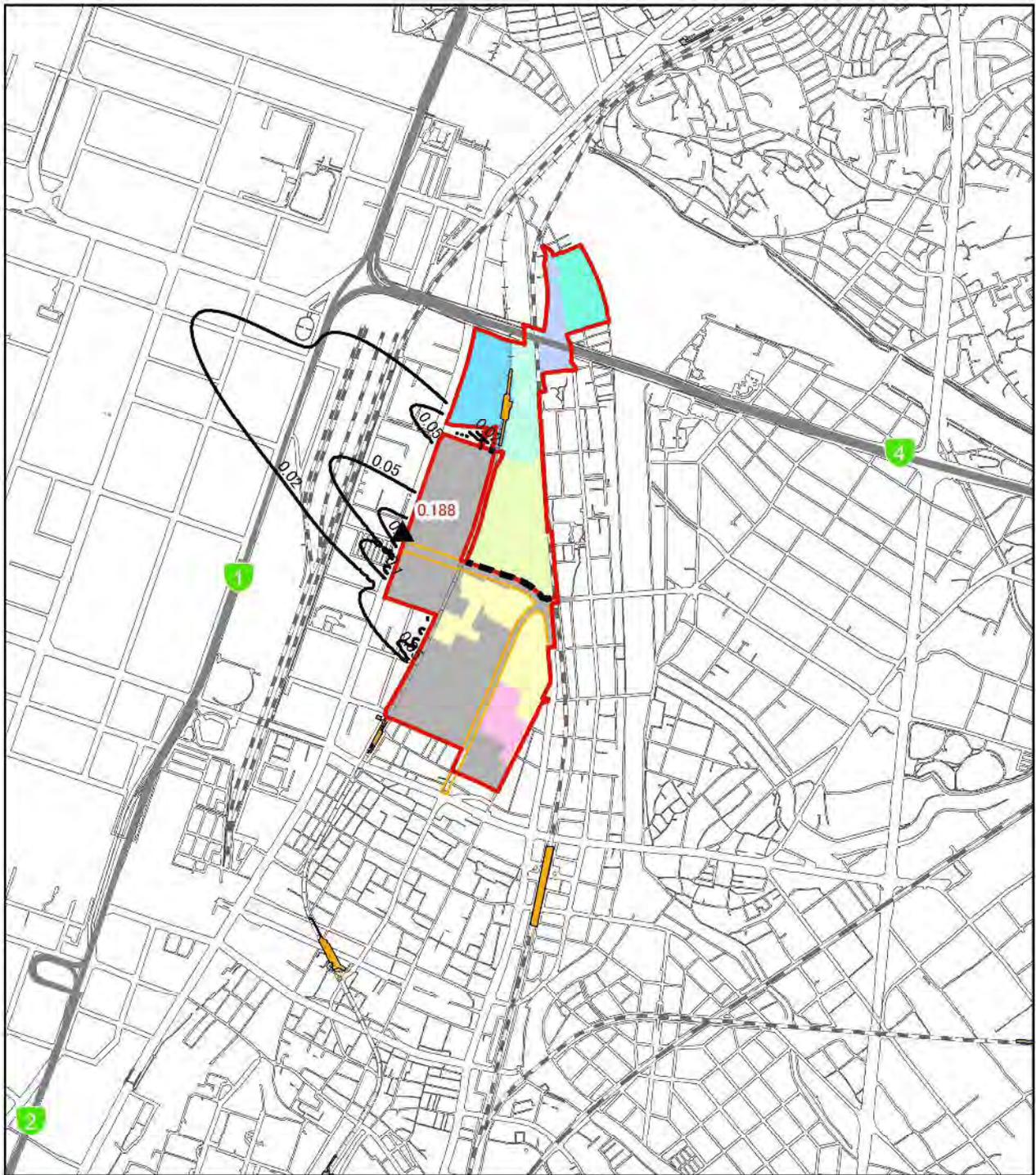
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 SSE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(6) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 SSE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

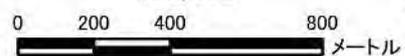
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

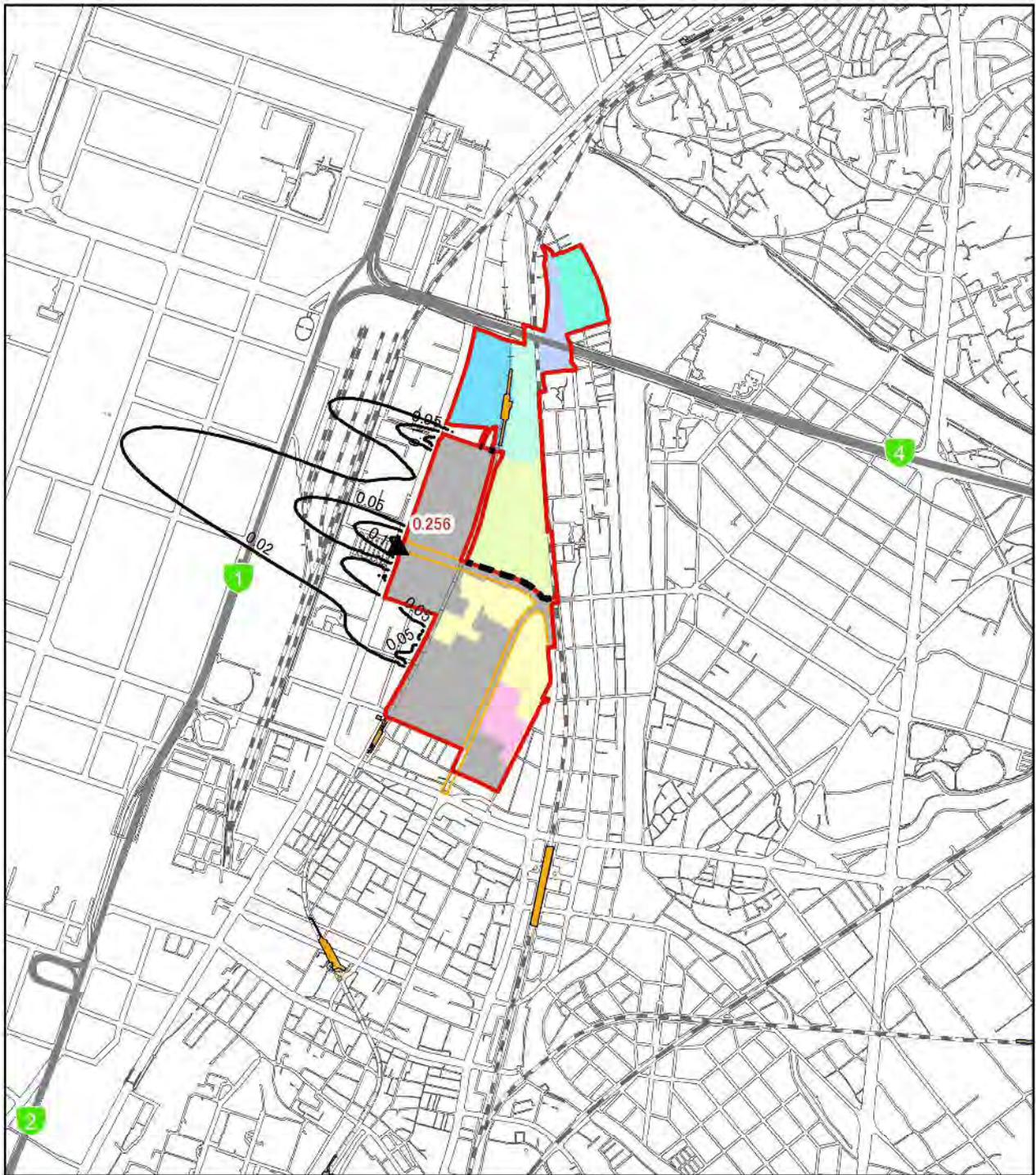
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 SE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(7) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 SE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

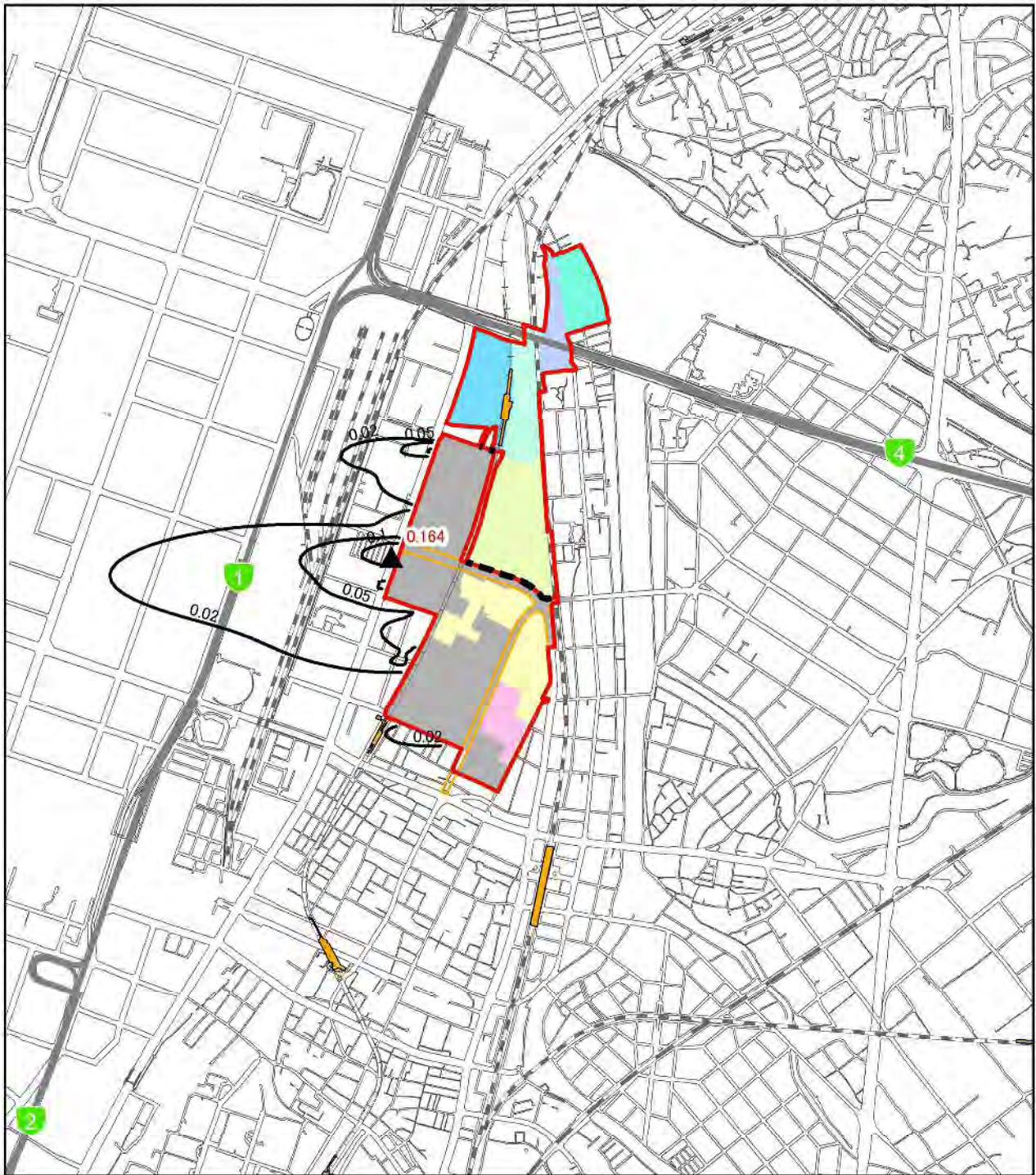
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 ESE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(8) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 ESE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

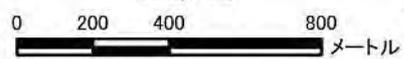
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

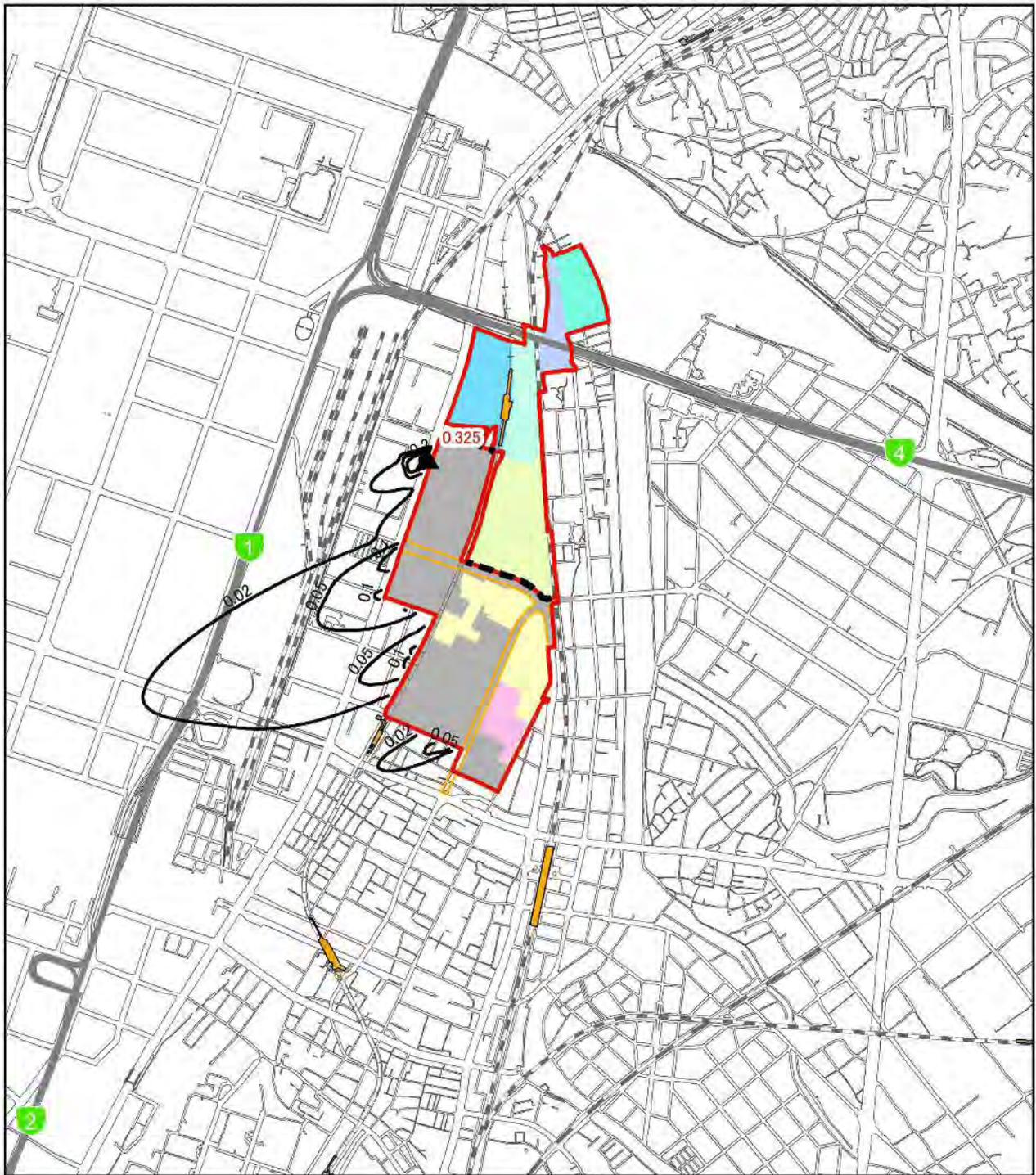
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 E 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(9) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 E 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

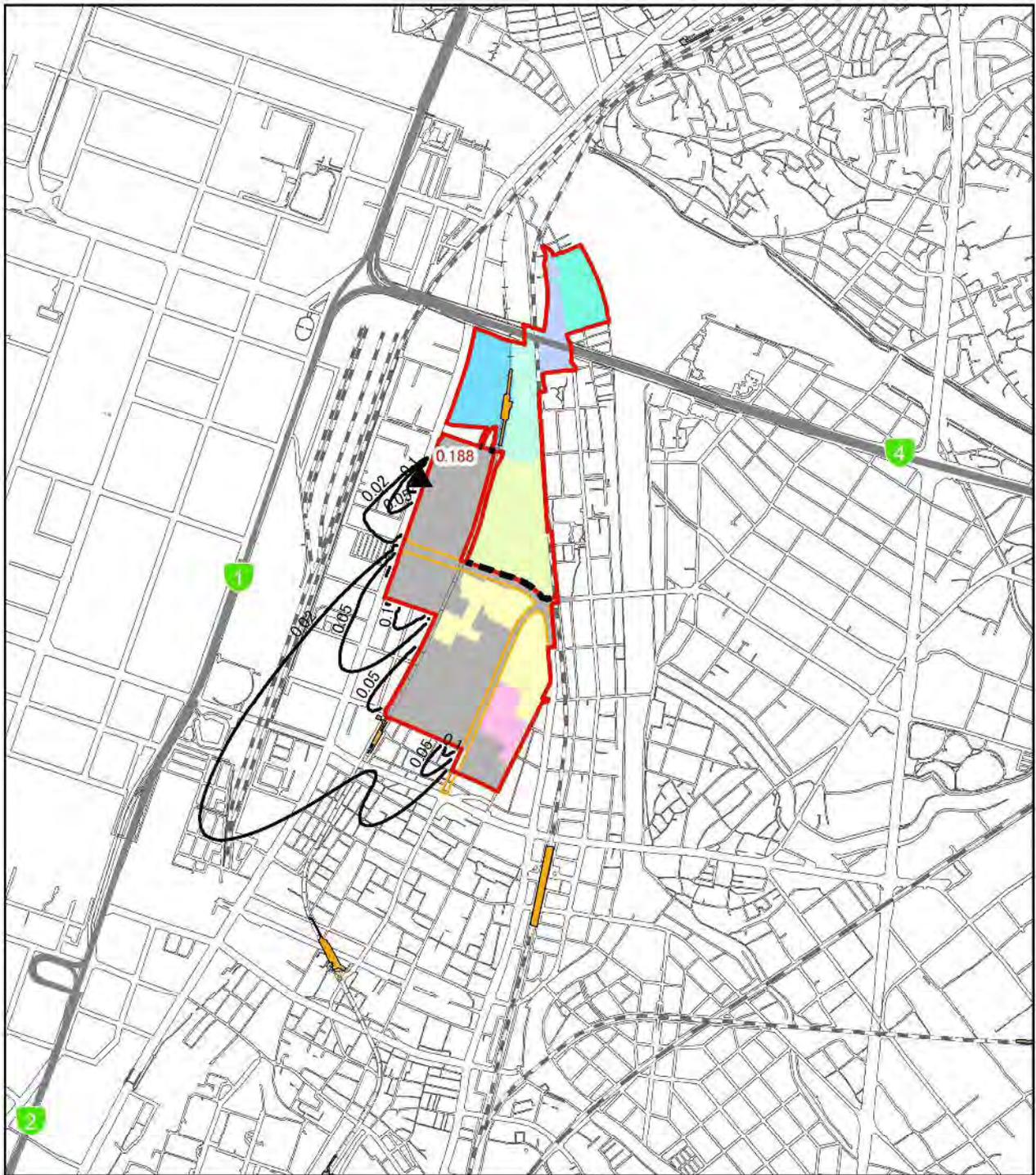
0 200 400 800 メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 ENE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-2(10) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 ENE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

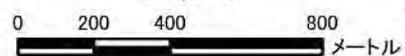
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

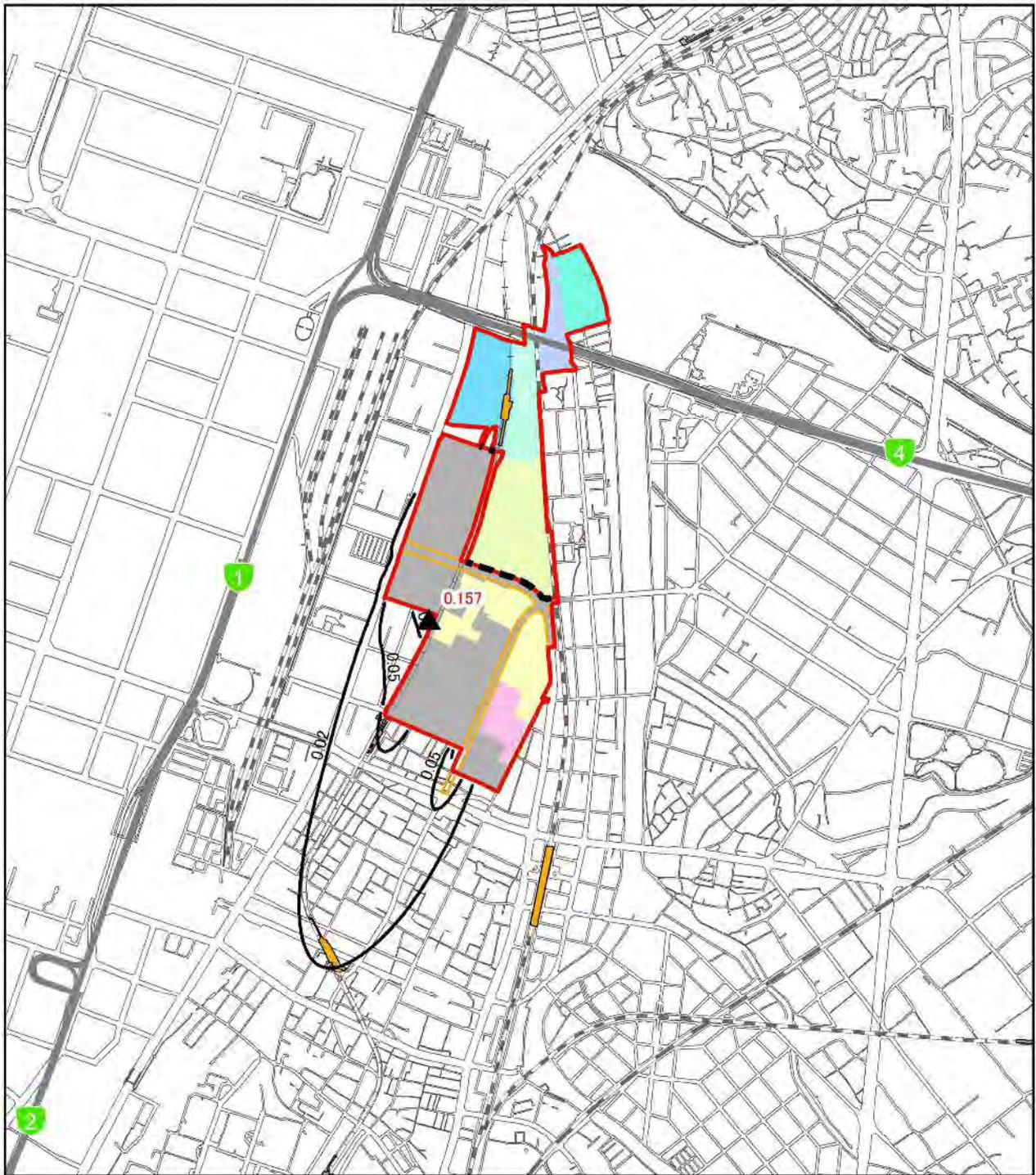
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 NE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(11) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

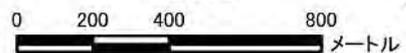
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

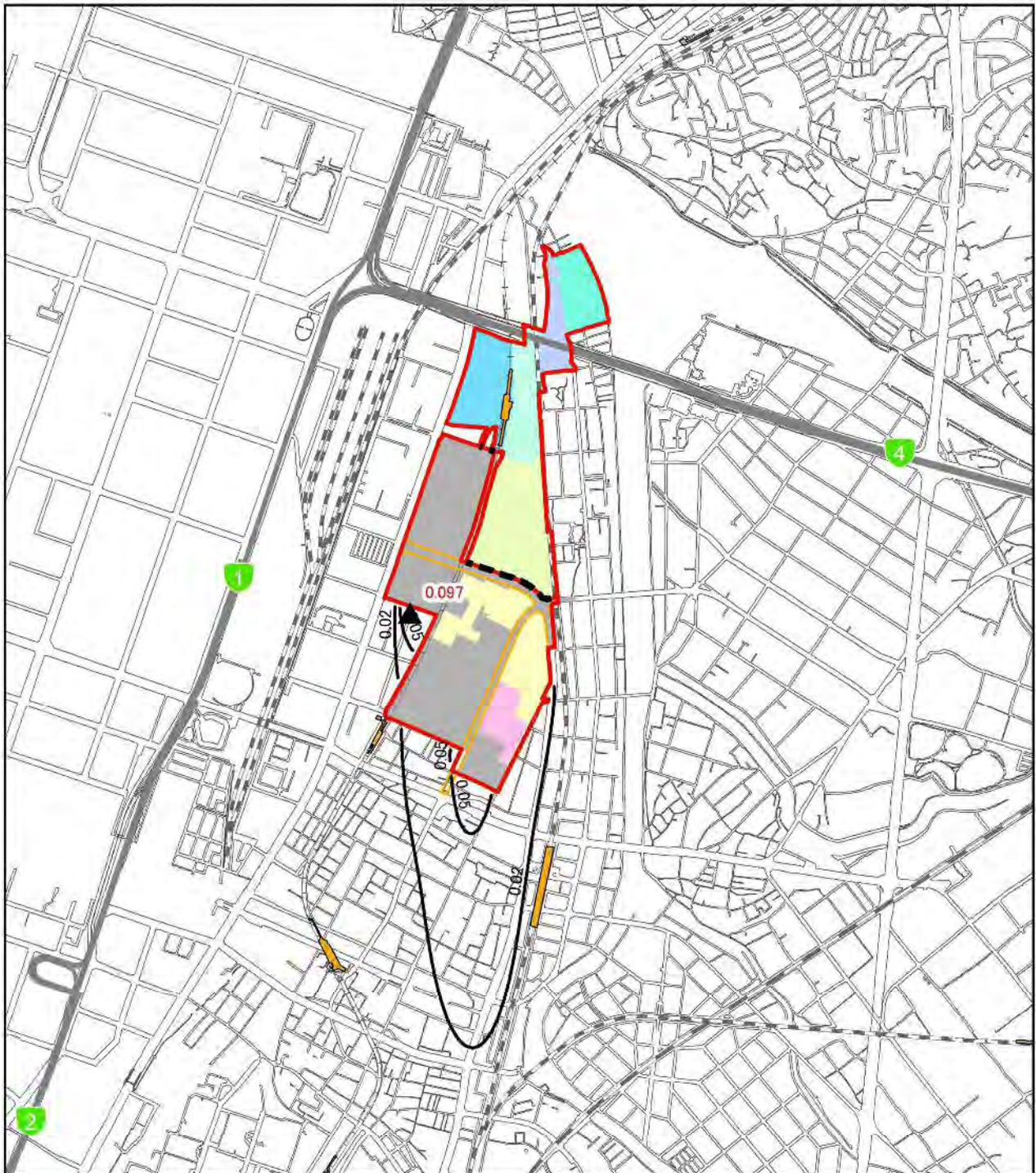
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 NNE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(12) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NNE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

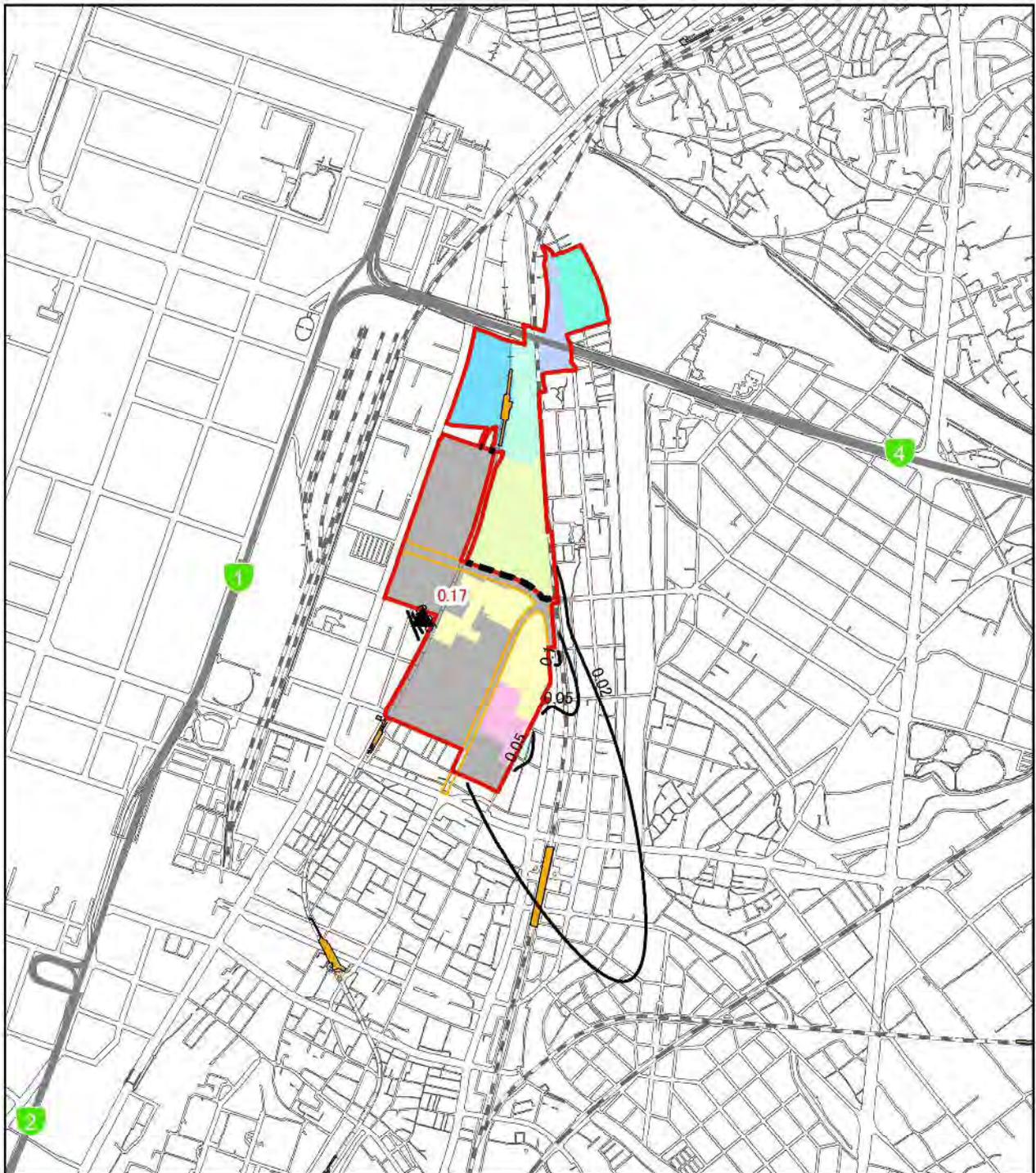
0 200 400 800 メートル



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 N 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(13) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 N 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

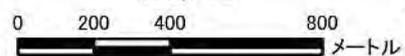
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

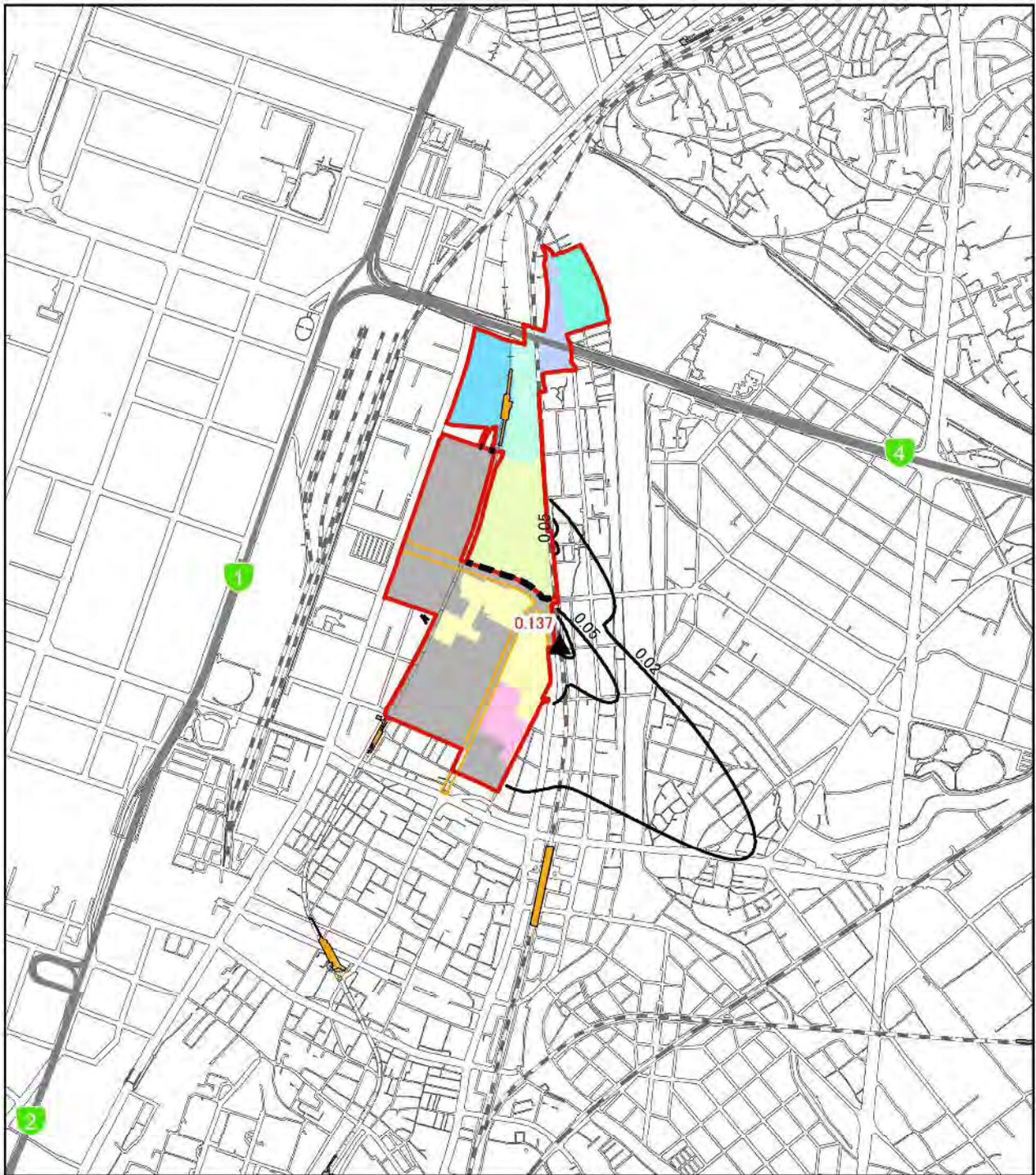
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向 NNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(14) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NNW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

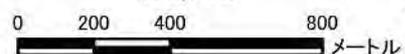
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

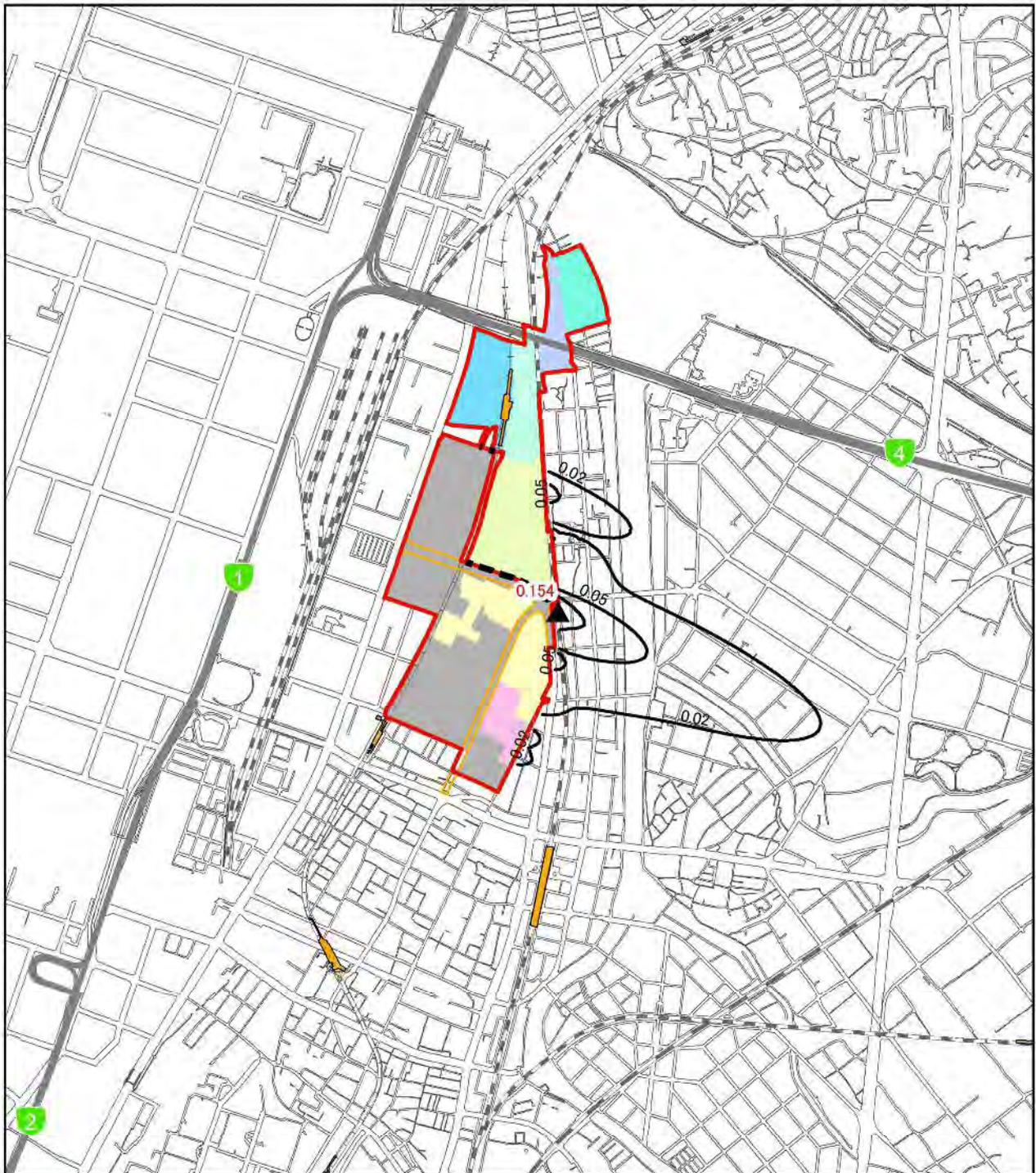
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>):風向NW 大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-2(15) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向NW 大気安定度D



凡例

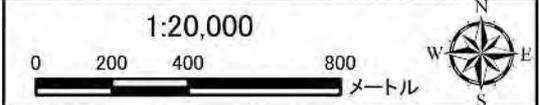
- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

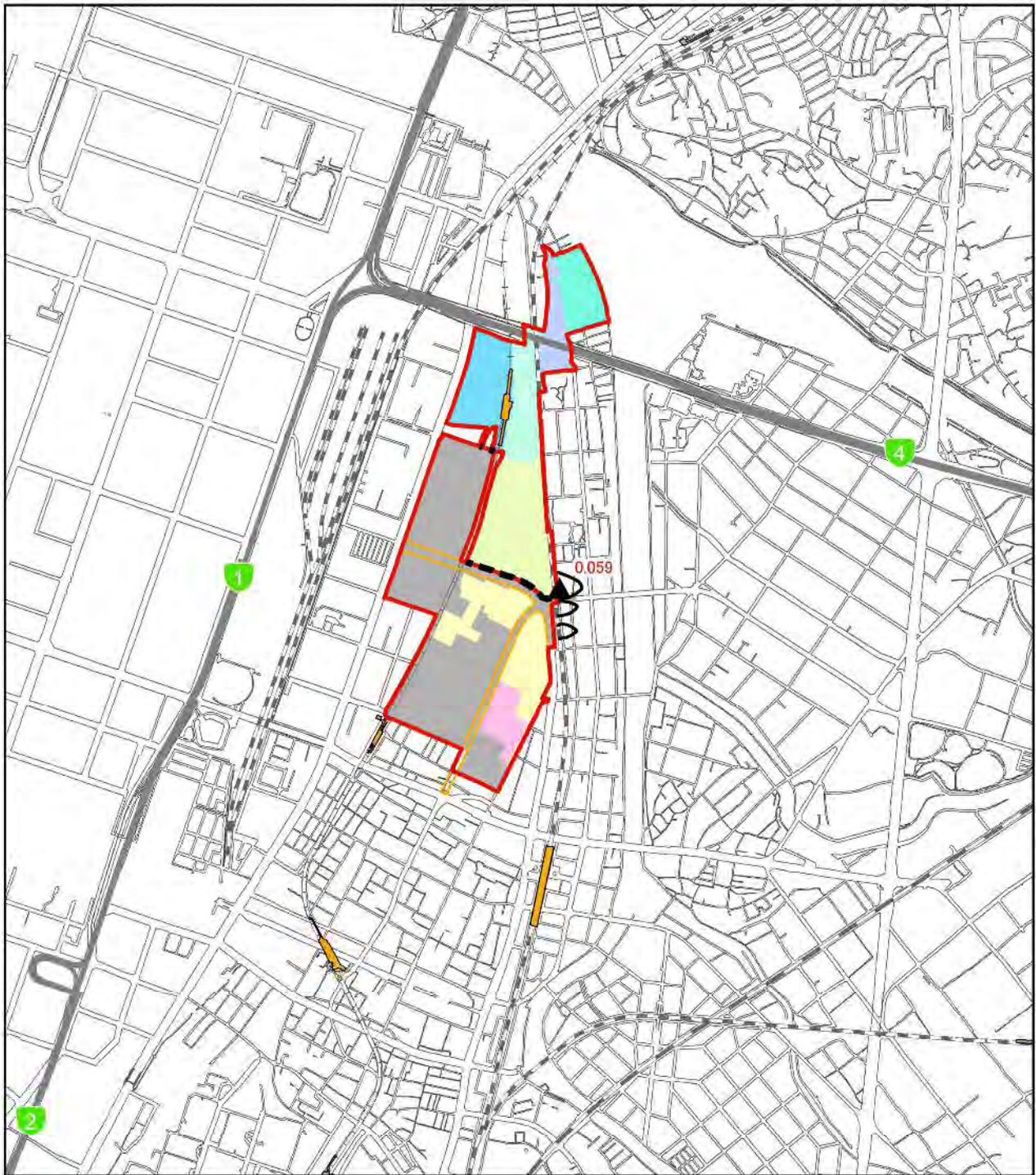
施工区域

- 2021年度



- 最大着地濃度地点
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m<sup>3</sup>): 風向NNW 大気安定度D

図 1-2(16) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 NNW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

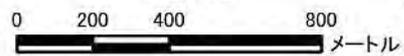
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

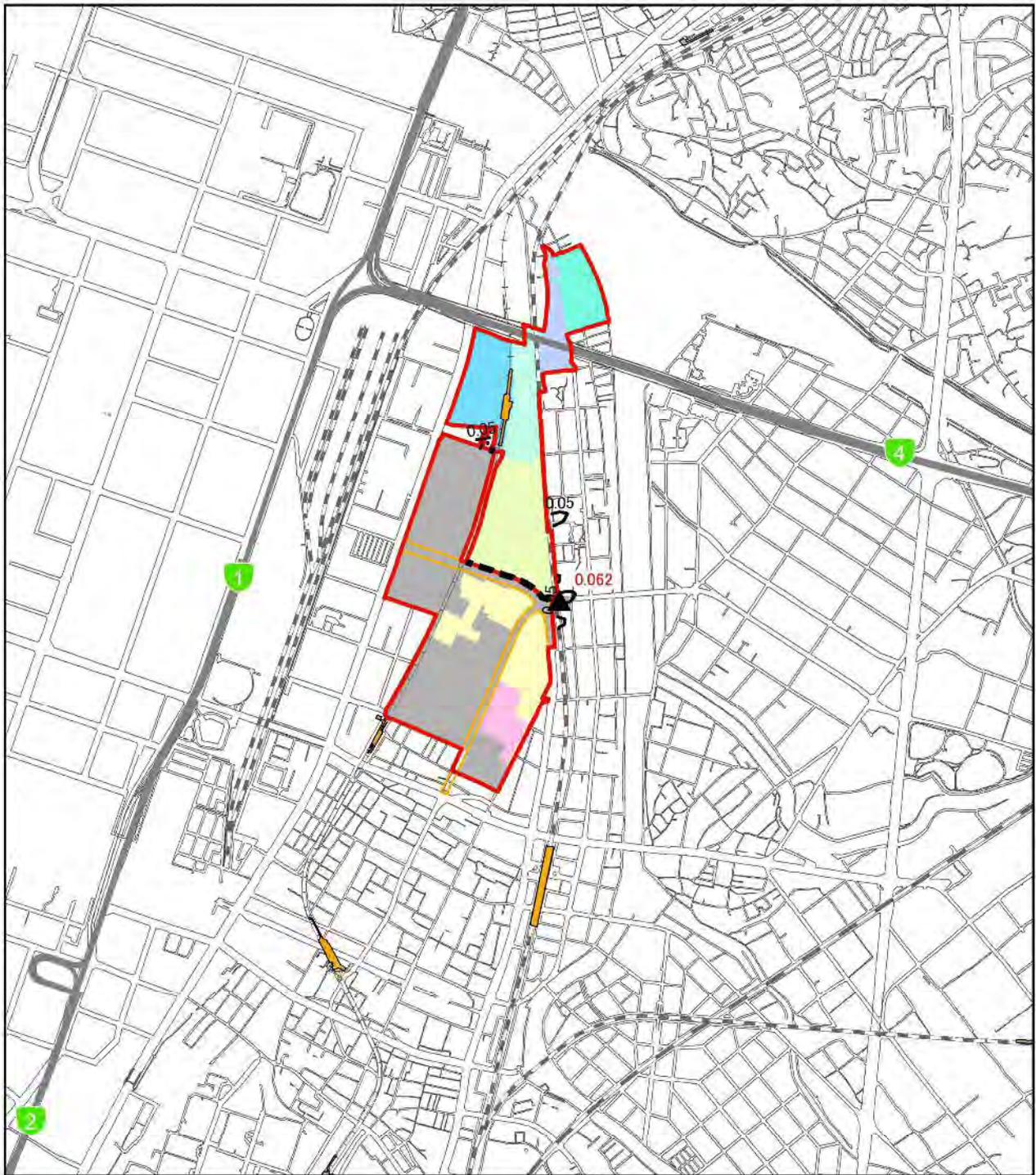
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 W 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(1) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 W 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

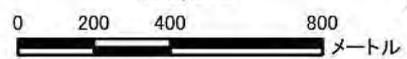
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

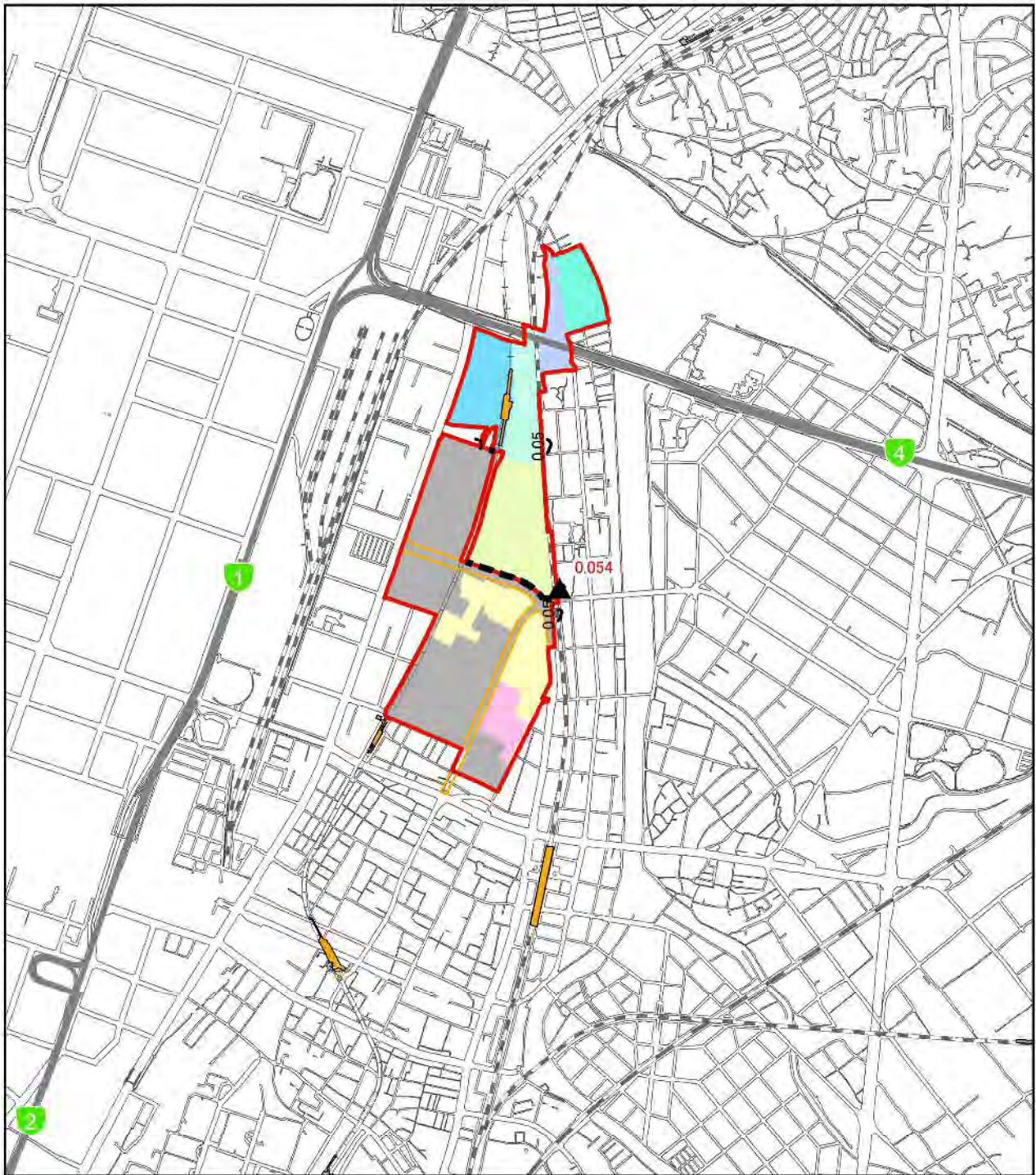
1:20,000



- 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 WSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(2) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 WSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

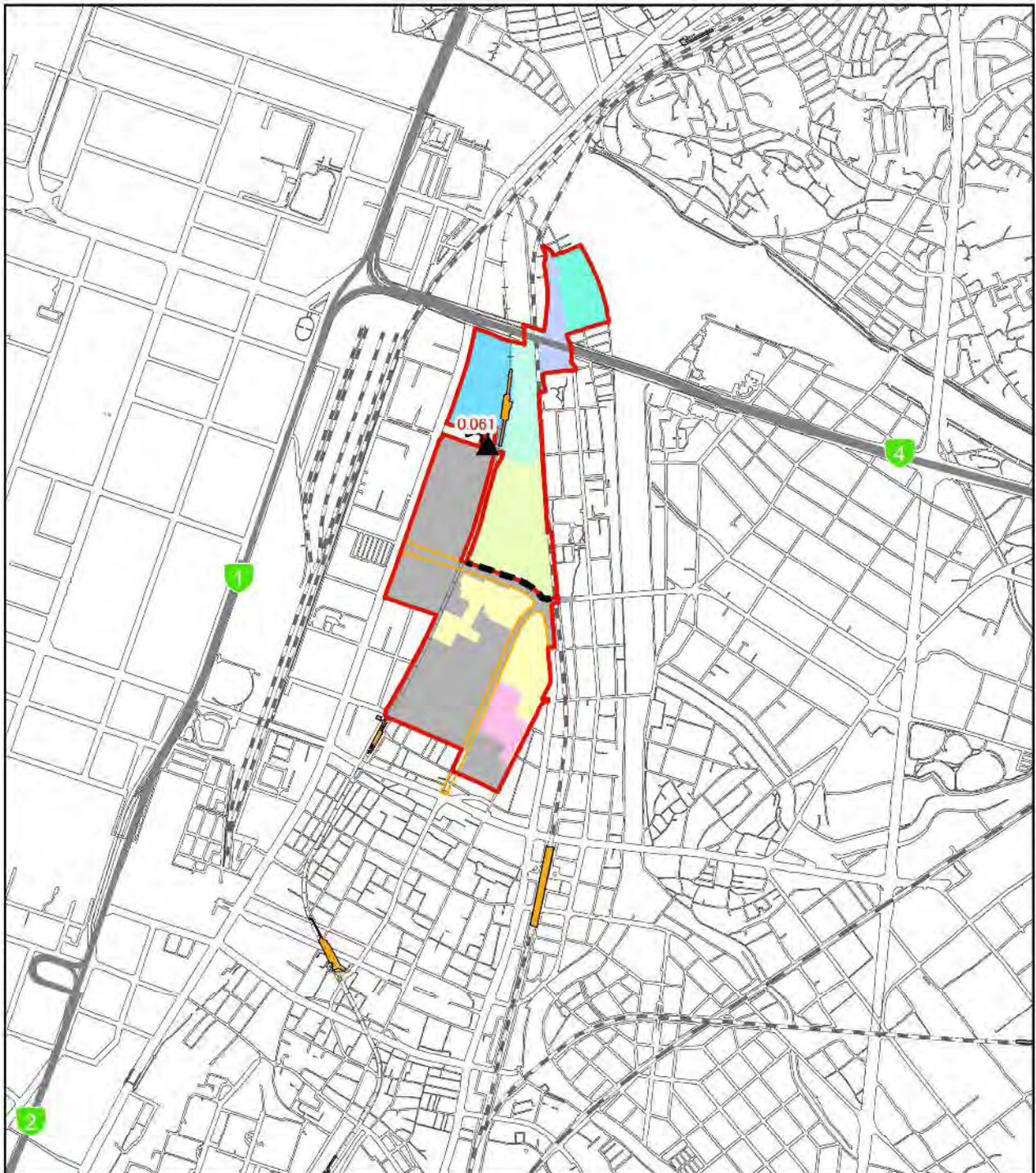
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3 (3) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 SW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

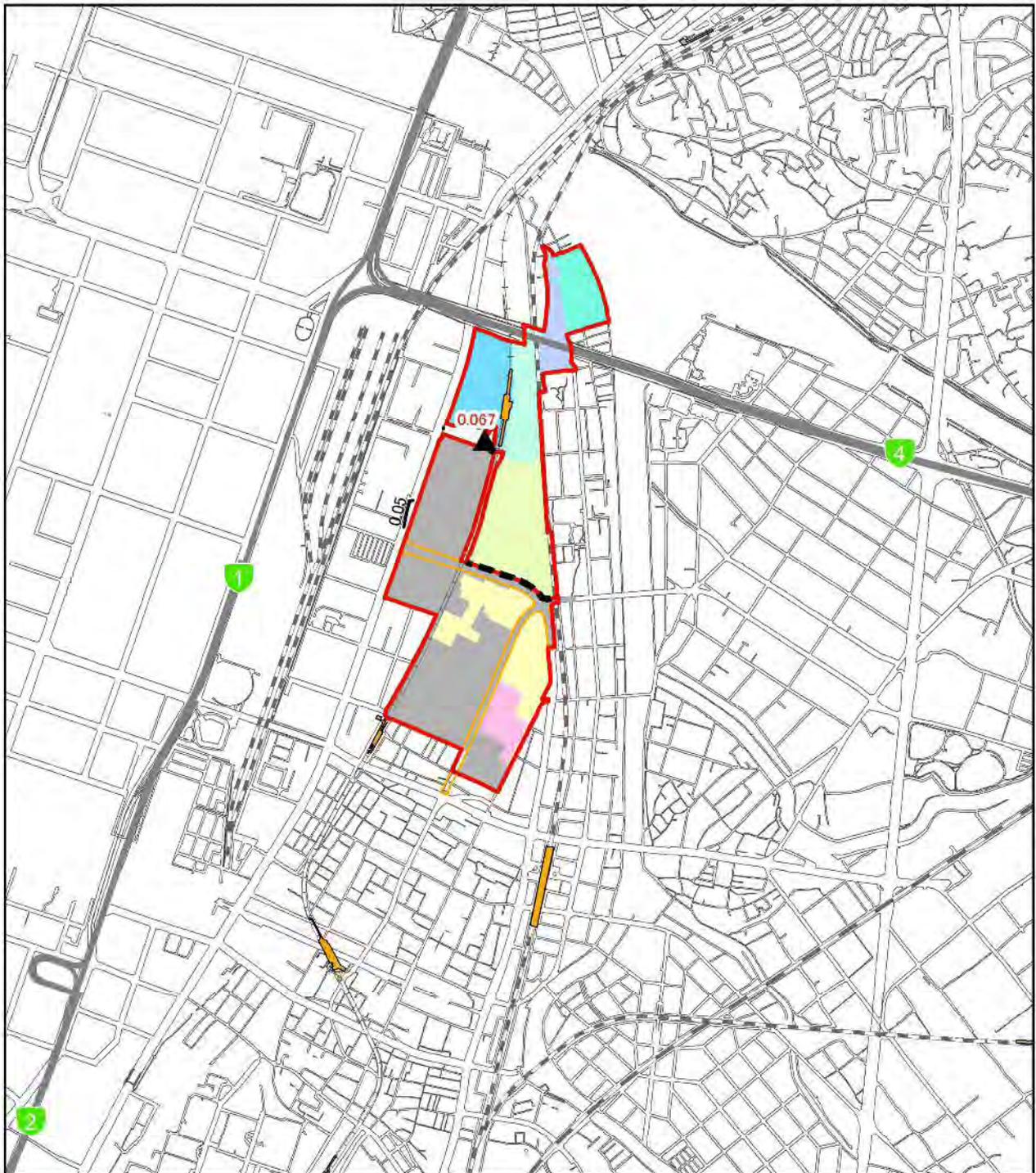
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(4) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1時間値): 風向 SSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

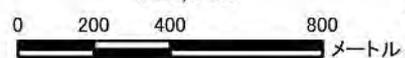
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

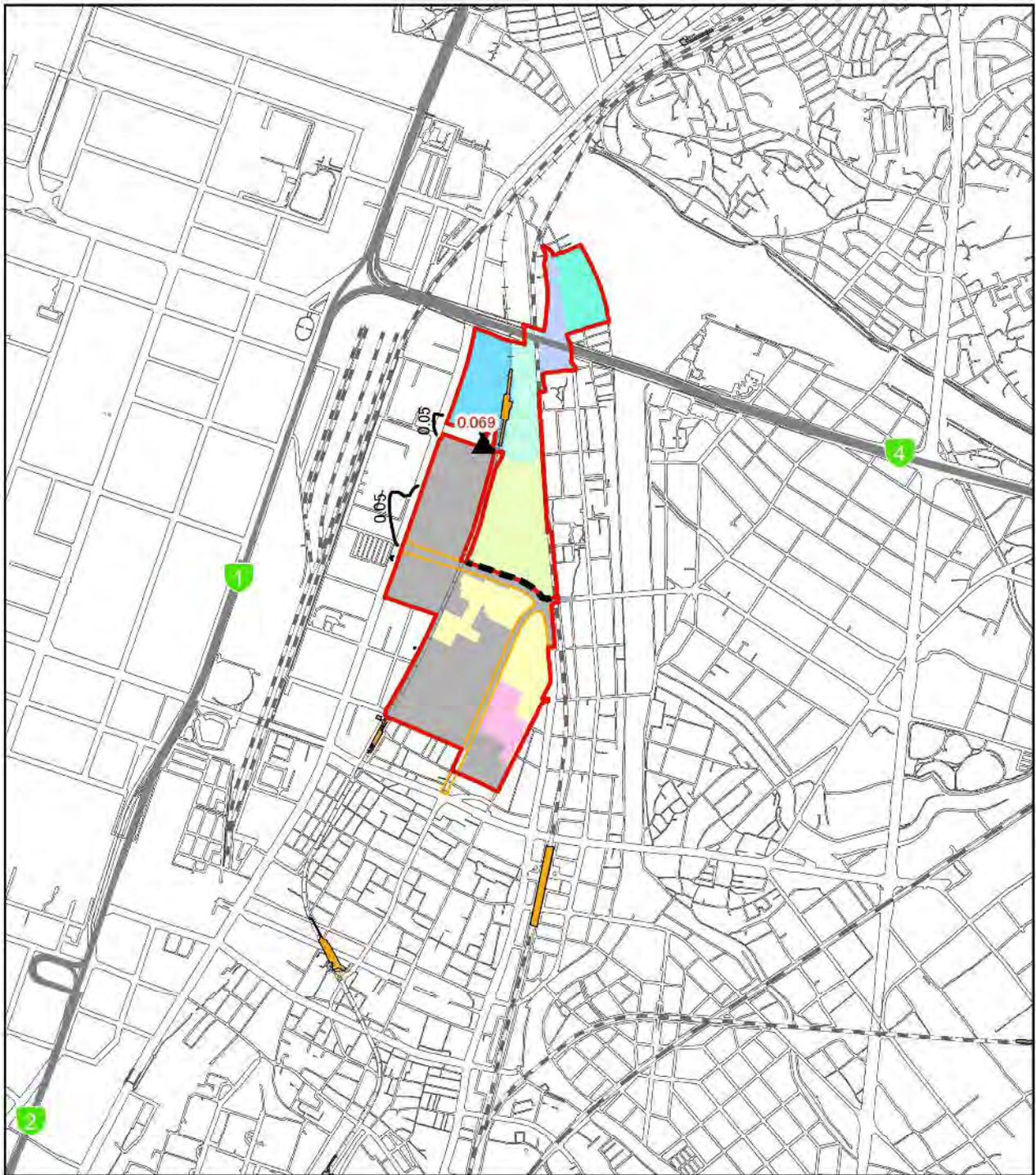
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 S 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3 (5) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 S 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

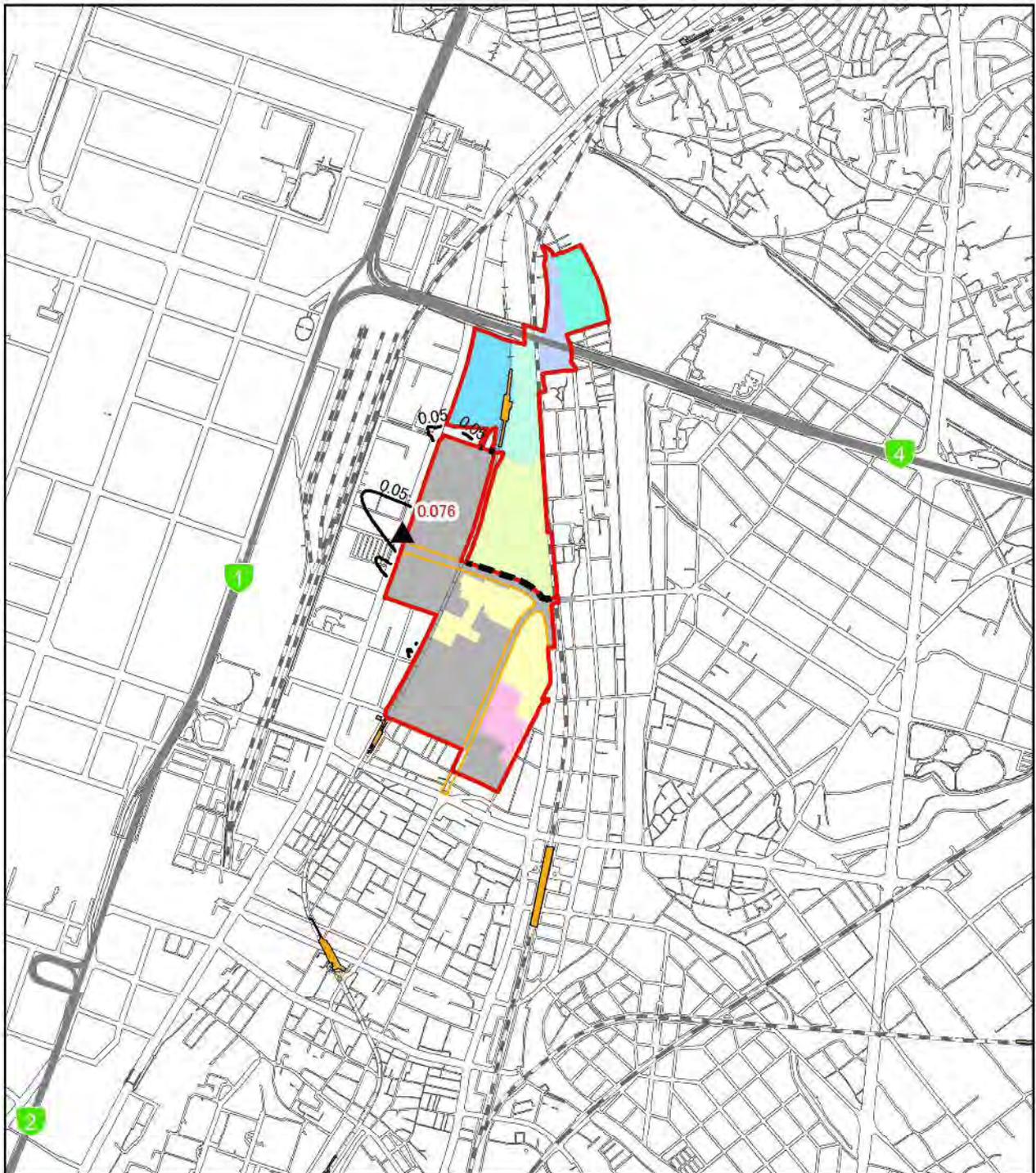
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SSE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(6) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 SSE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

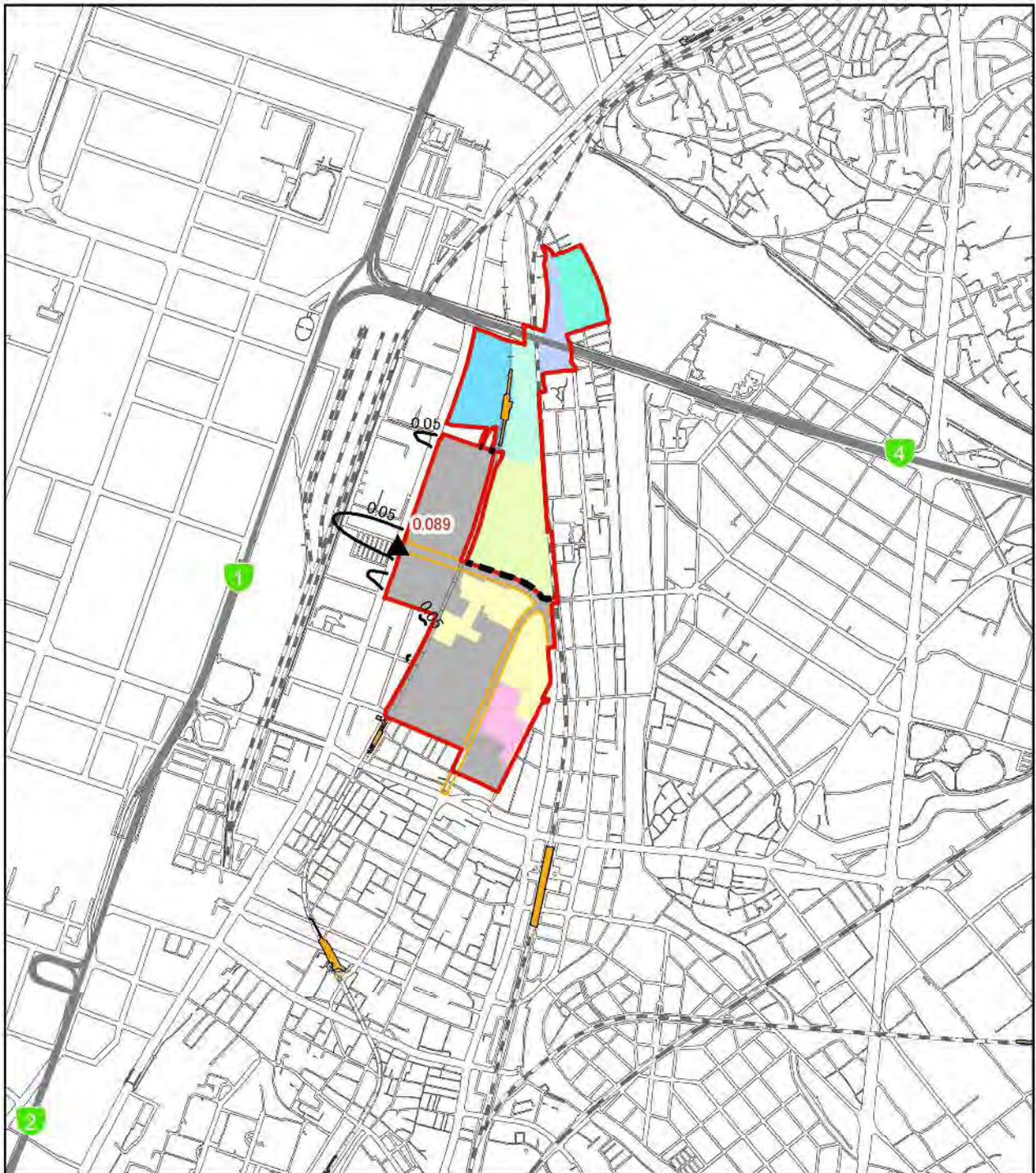
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(7) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 SE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

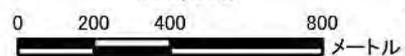
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

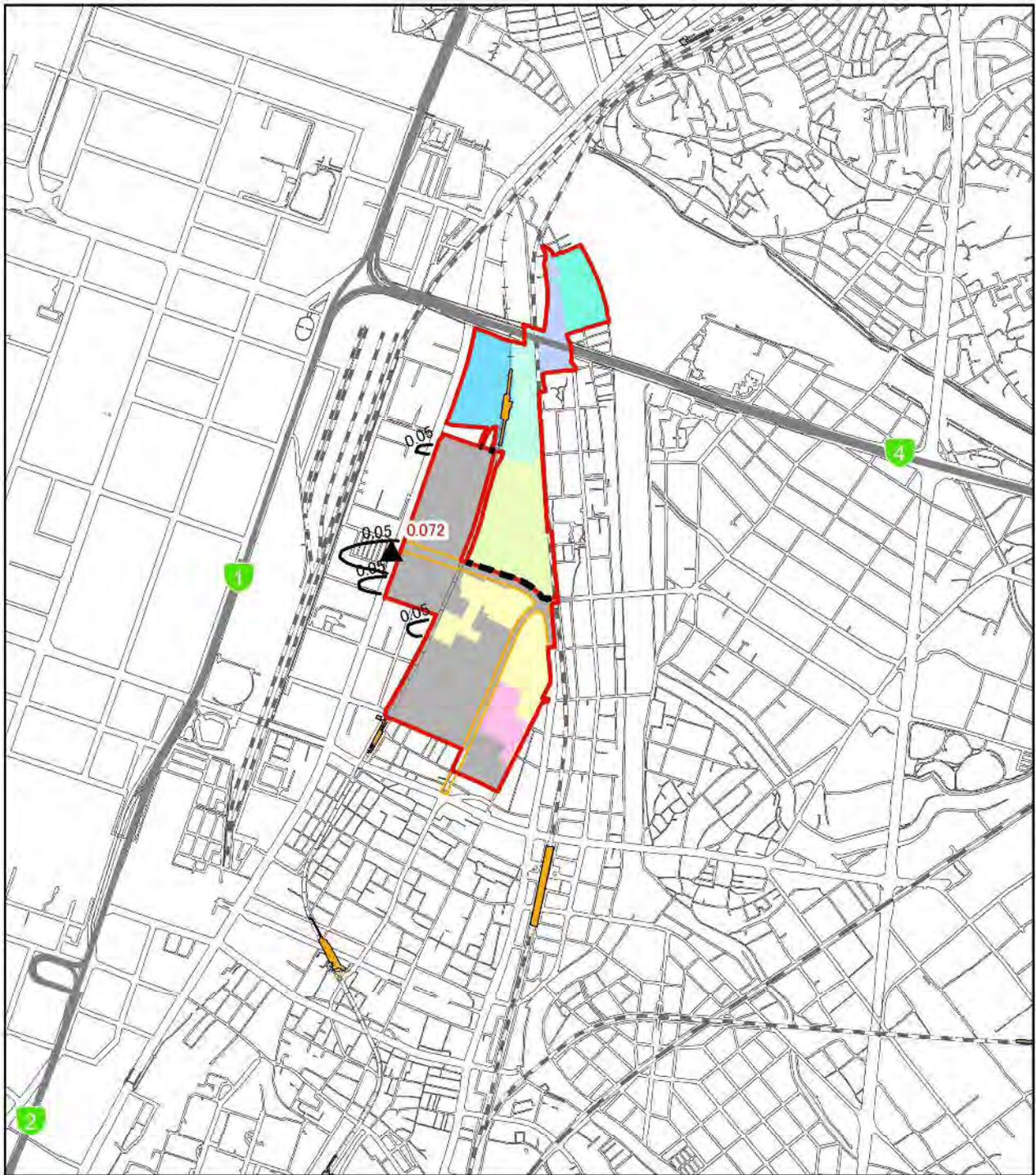
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 ESE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(8) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 ESE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

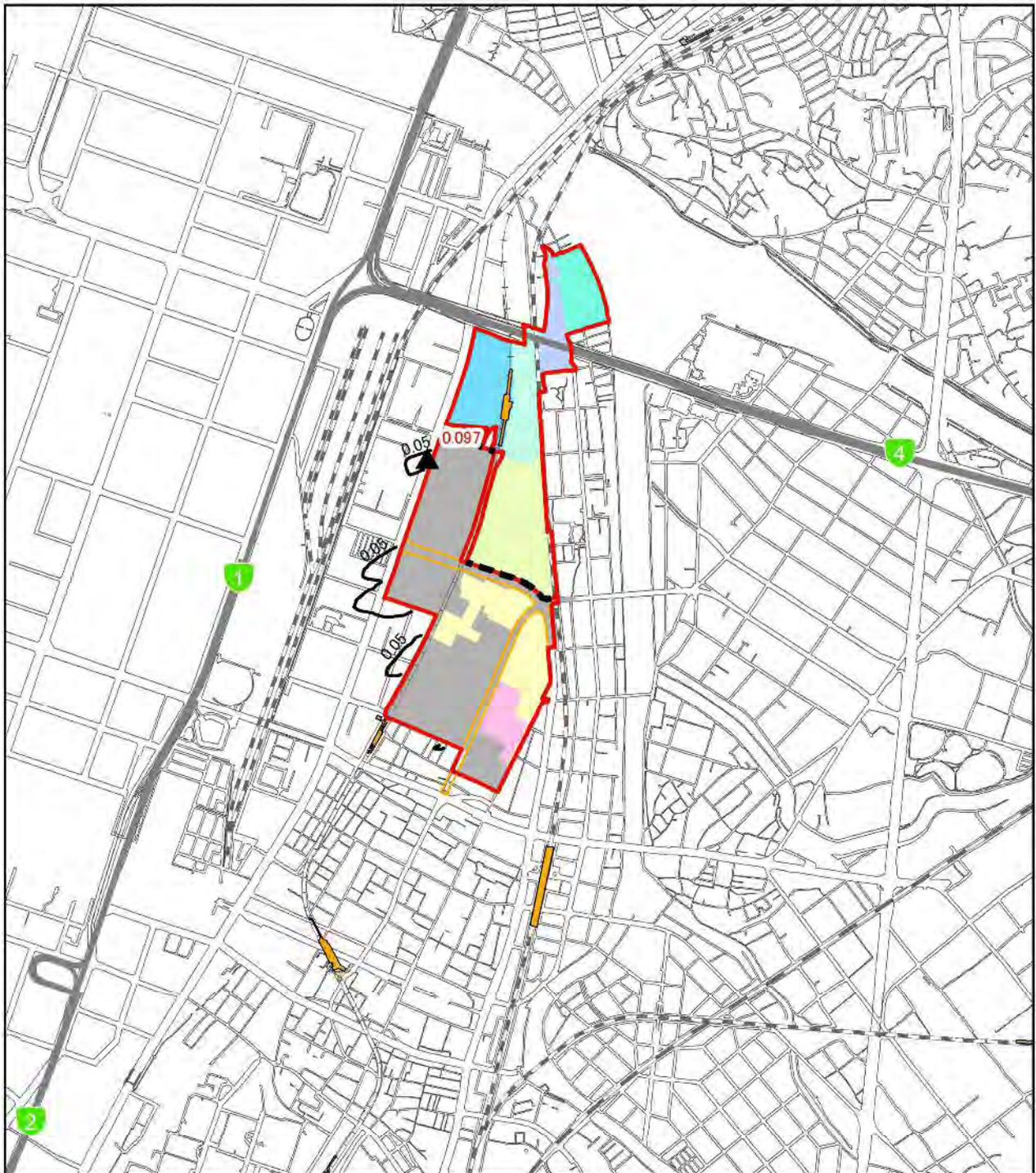
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 E 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3 (9) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 E 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

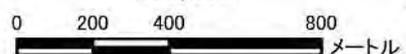
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

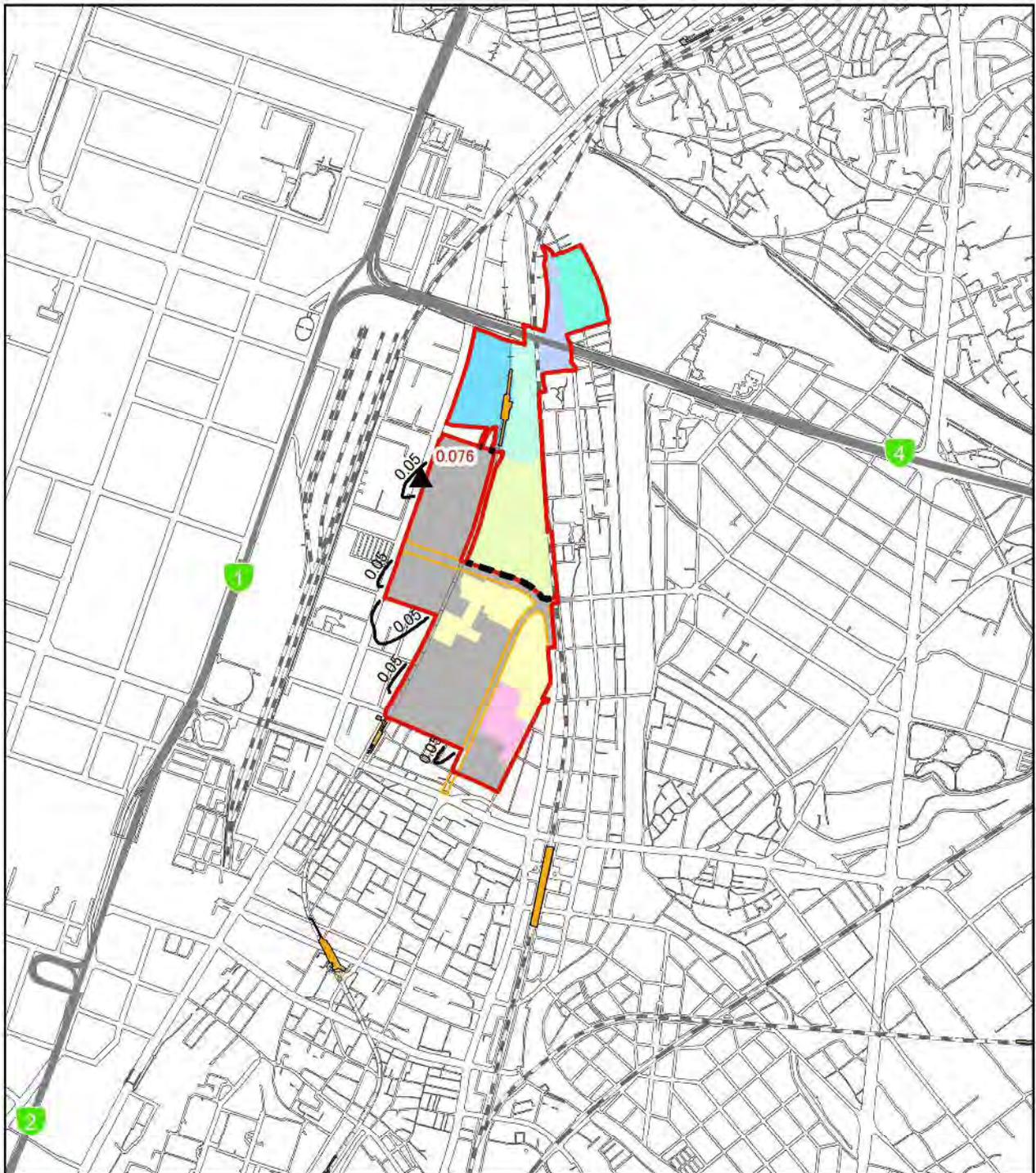
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 ENE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(10) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 ENE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

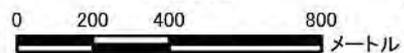
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

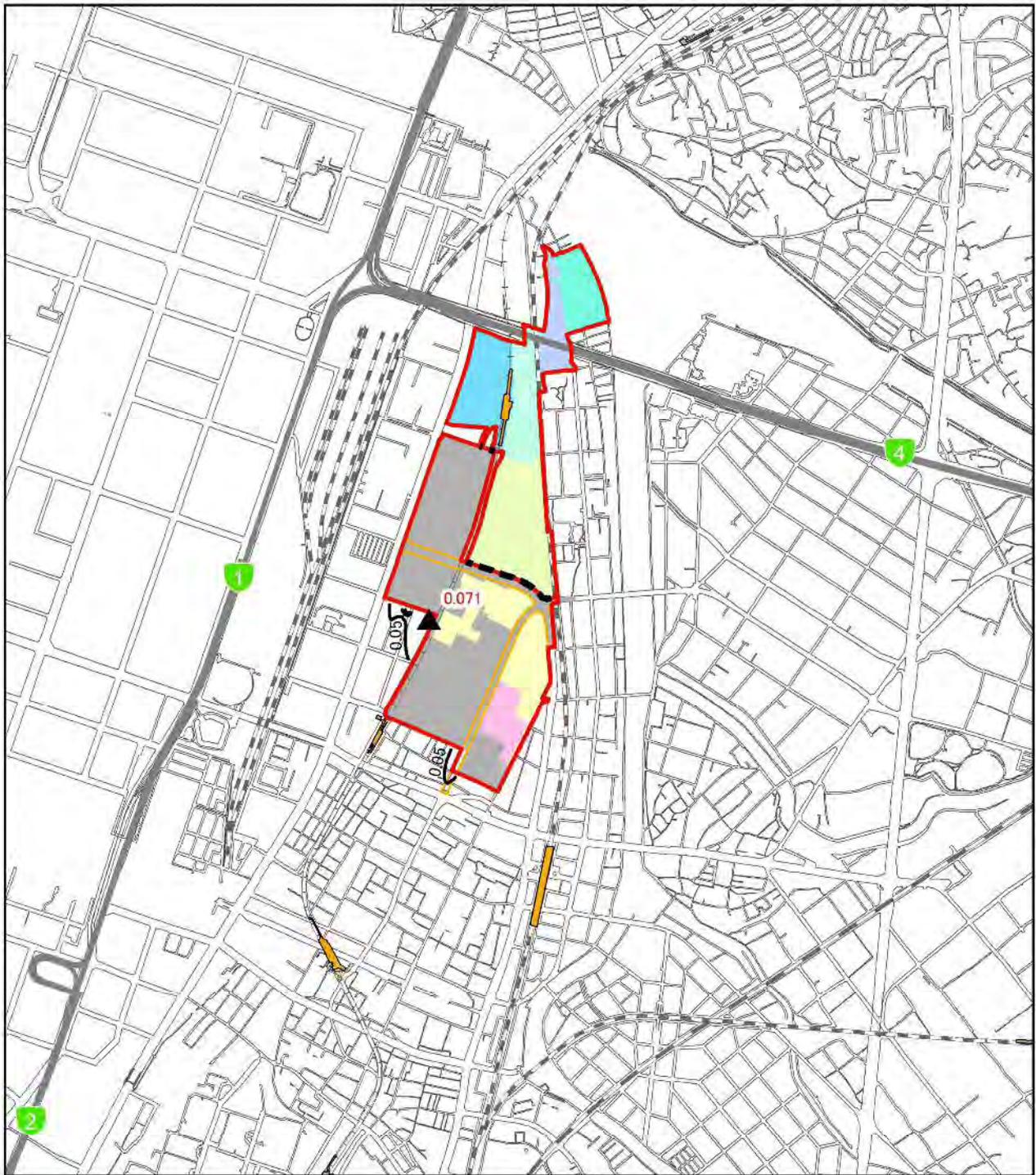
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 NE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(11) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

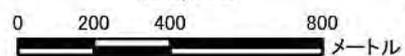
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

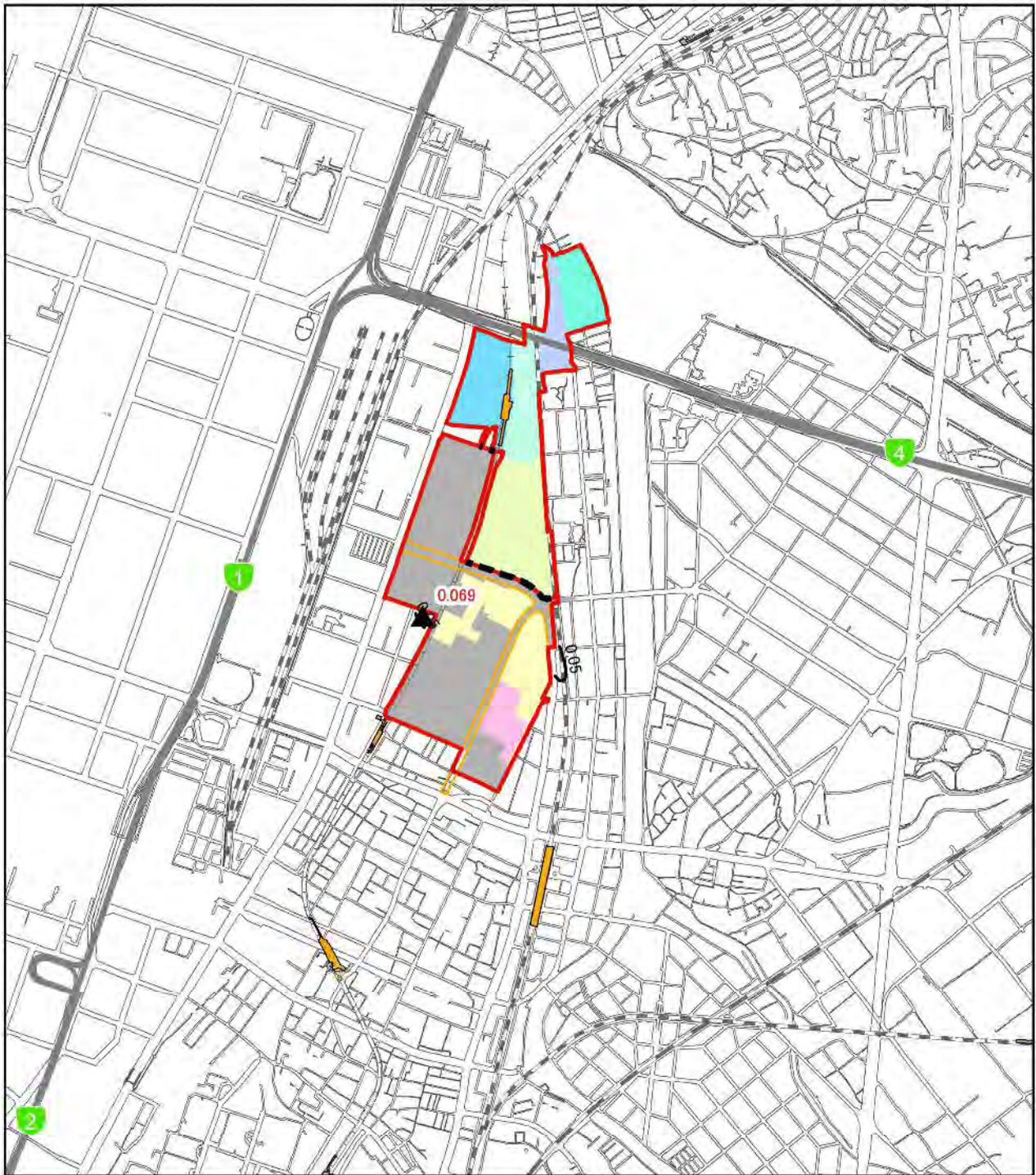


- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 NNE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(12) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 NNE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)





凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

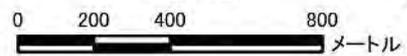
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

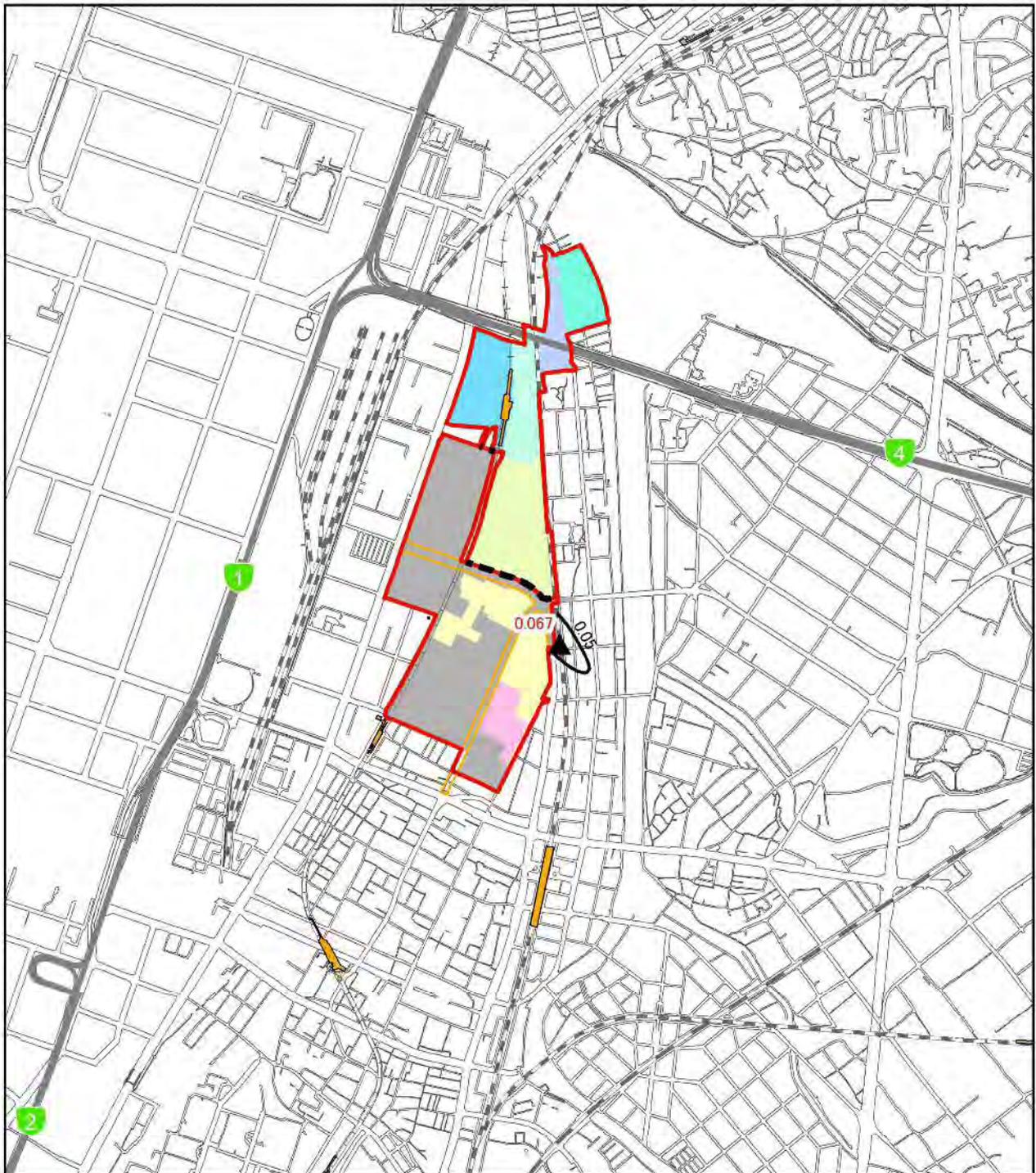
1:20,000



- 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 NNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(14) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果 (1時間値): 風向 NNW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

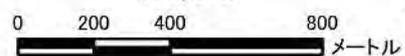
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

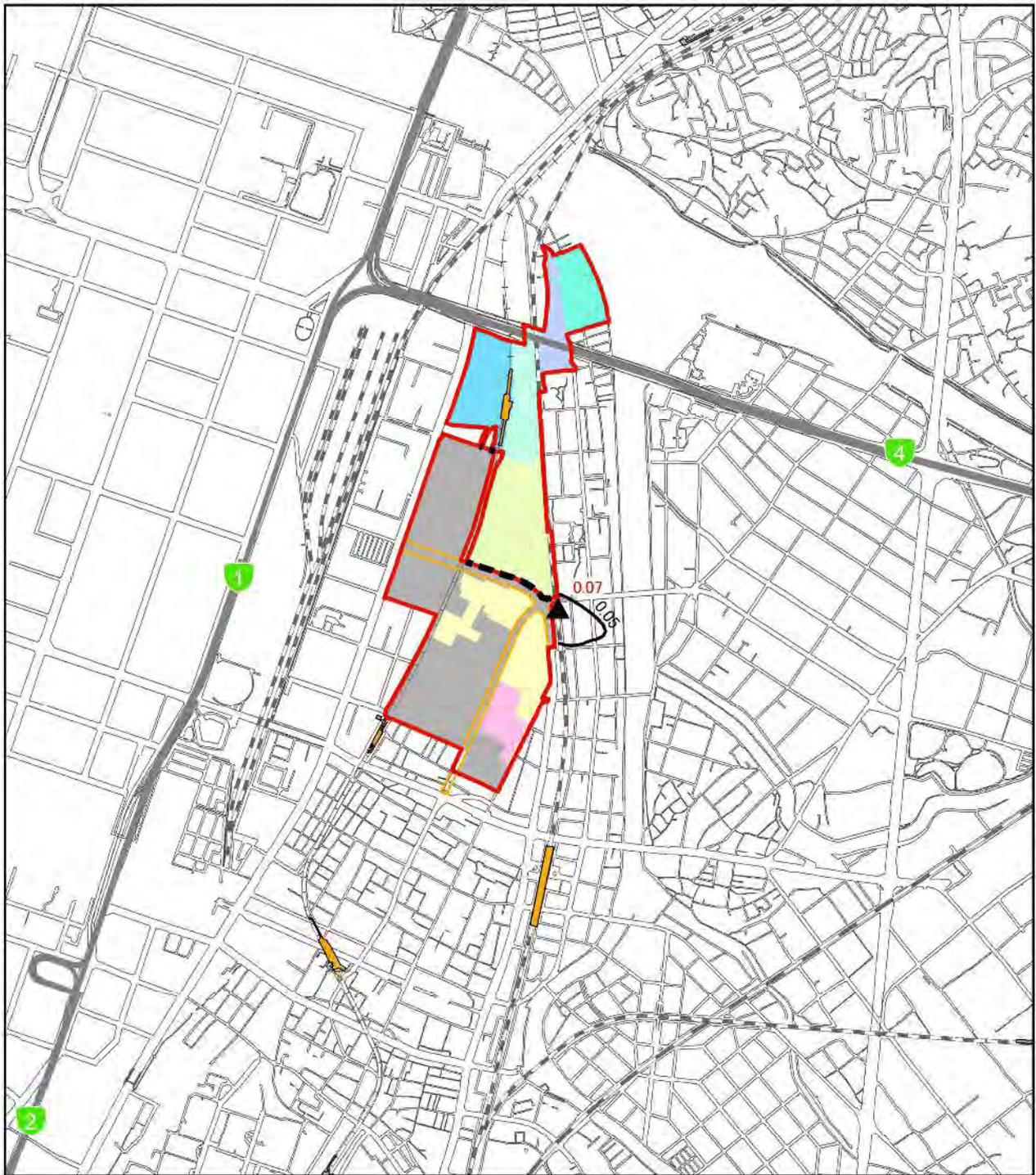
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 NW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(15) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 NW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

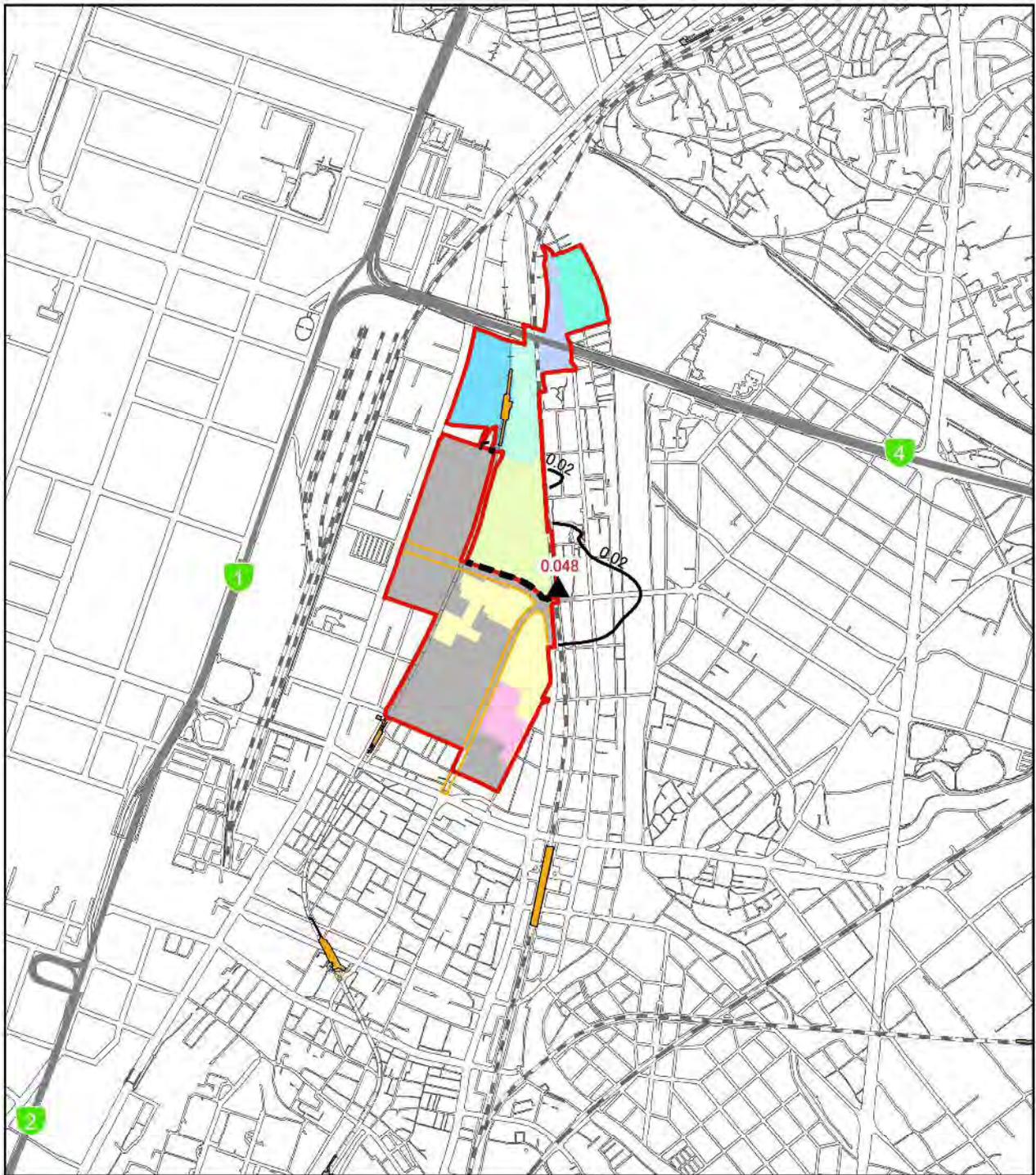
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 WNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(16) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 WNW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

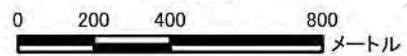
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

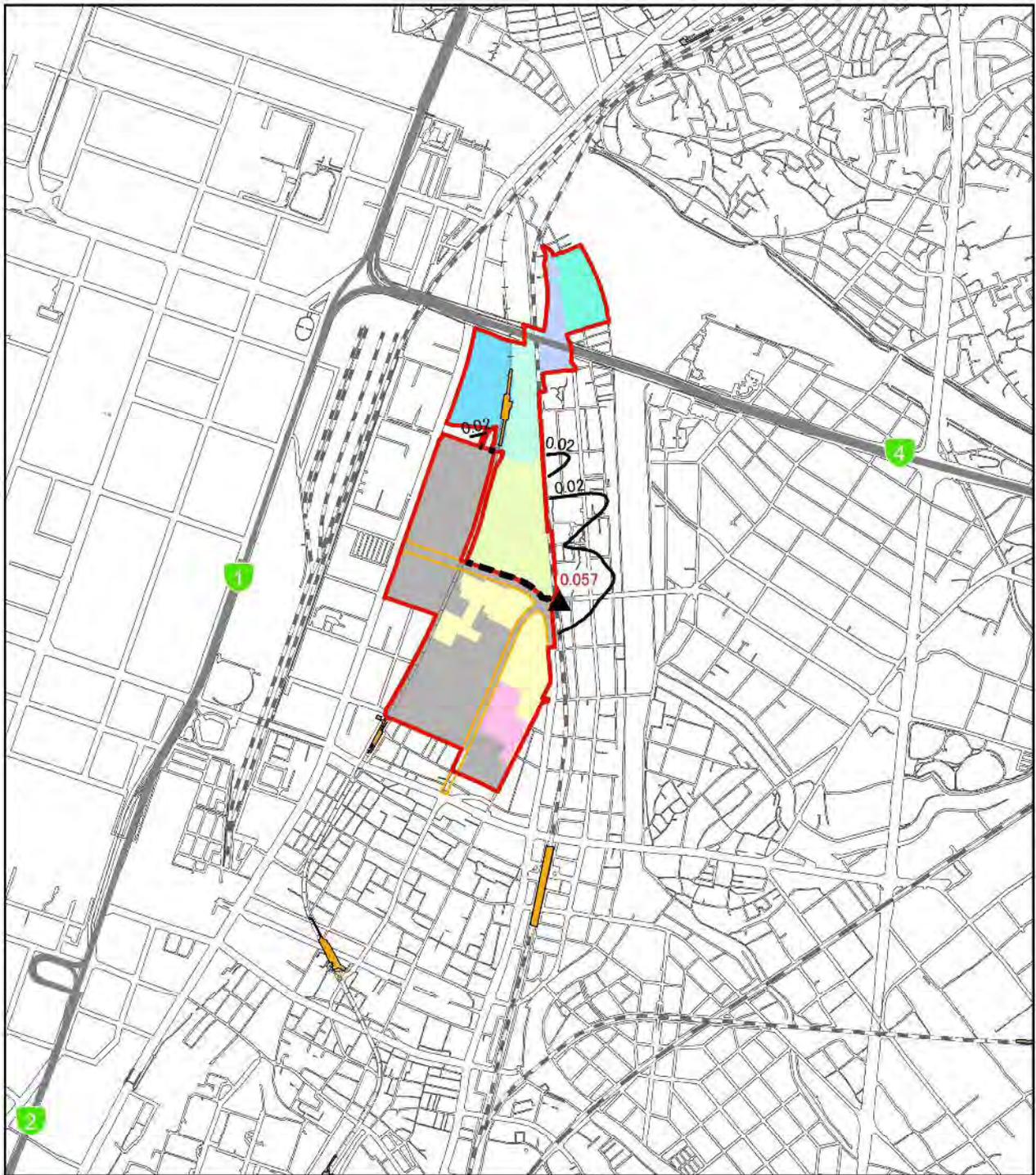
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 W 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-4(1) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 W 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

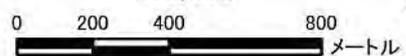
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

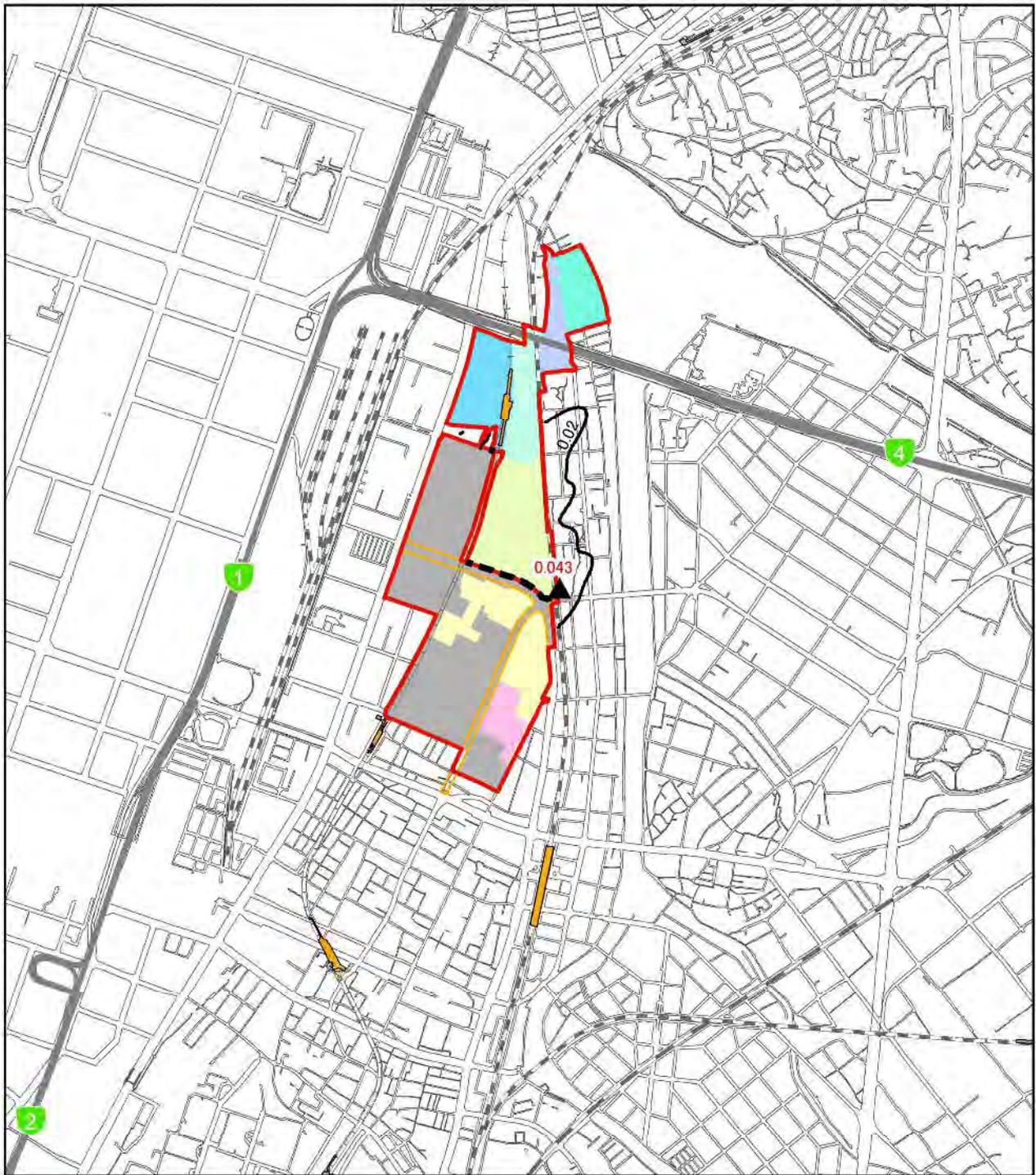
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 WSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-4(2) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値): 風向 WSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

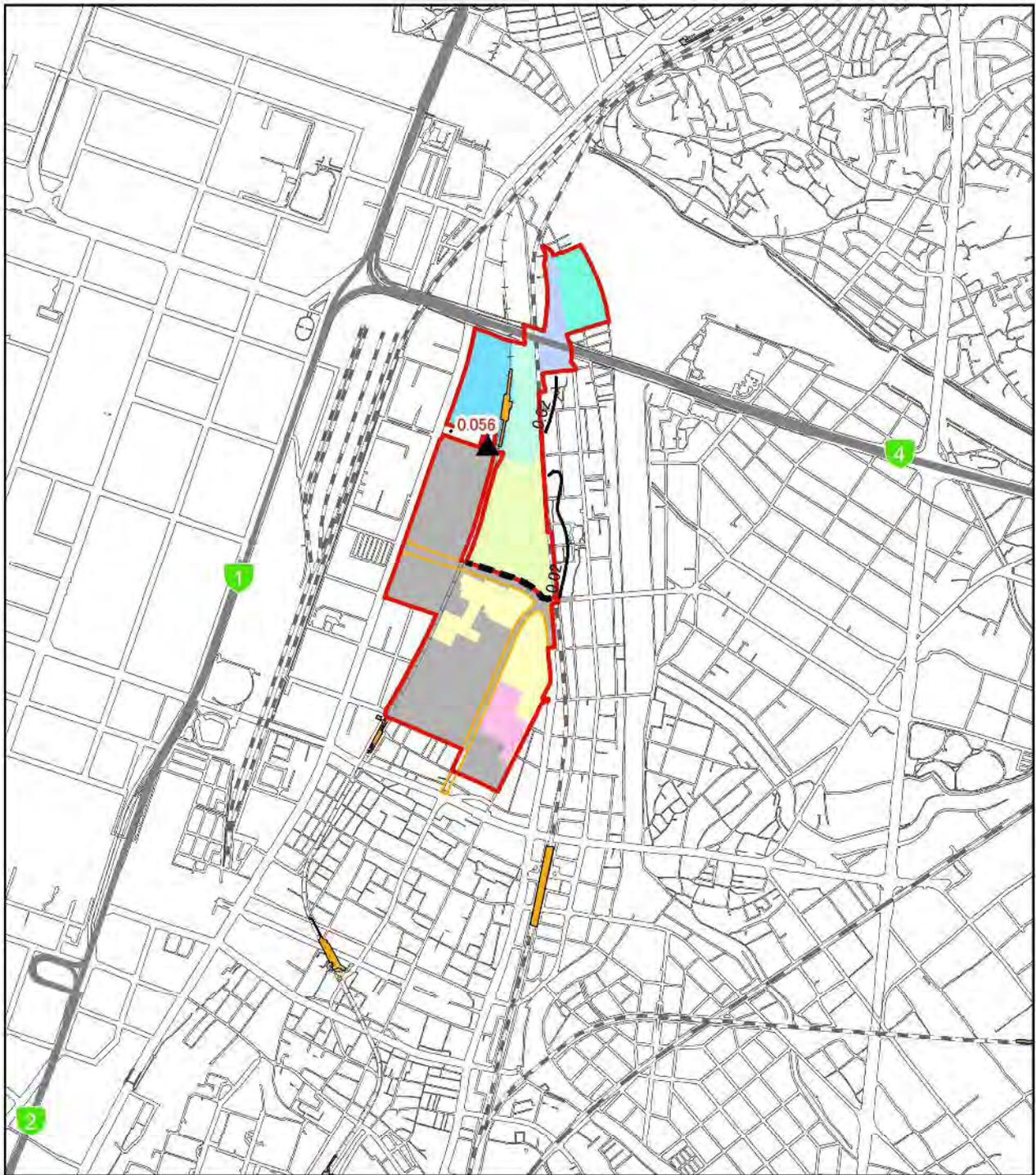
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 SW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-4 (3) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果 (1 時間値): 風向 SW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

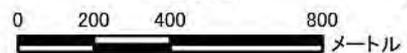
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

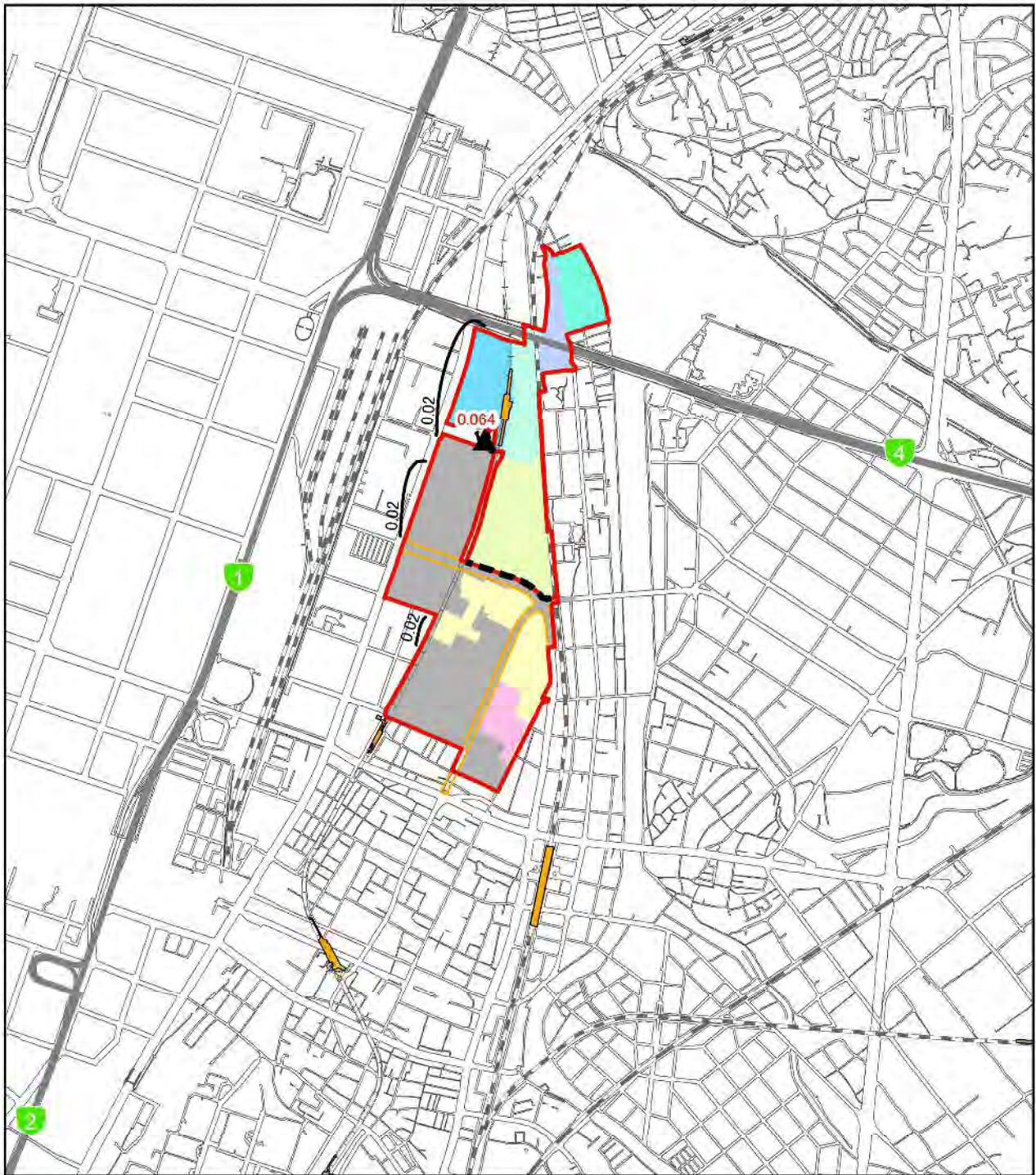
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 SSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は0.035mg/m<sup>3</sup>である。

図 1-4 (4) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 SSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

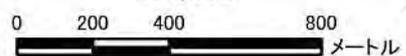
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

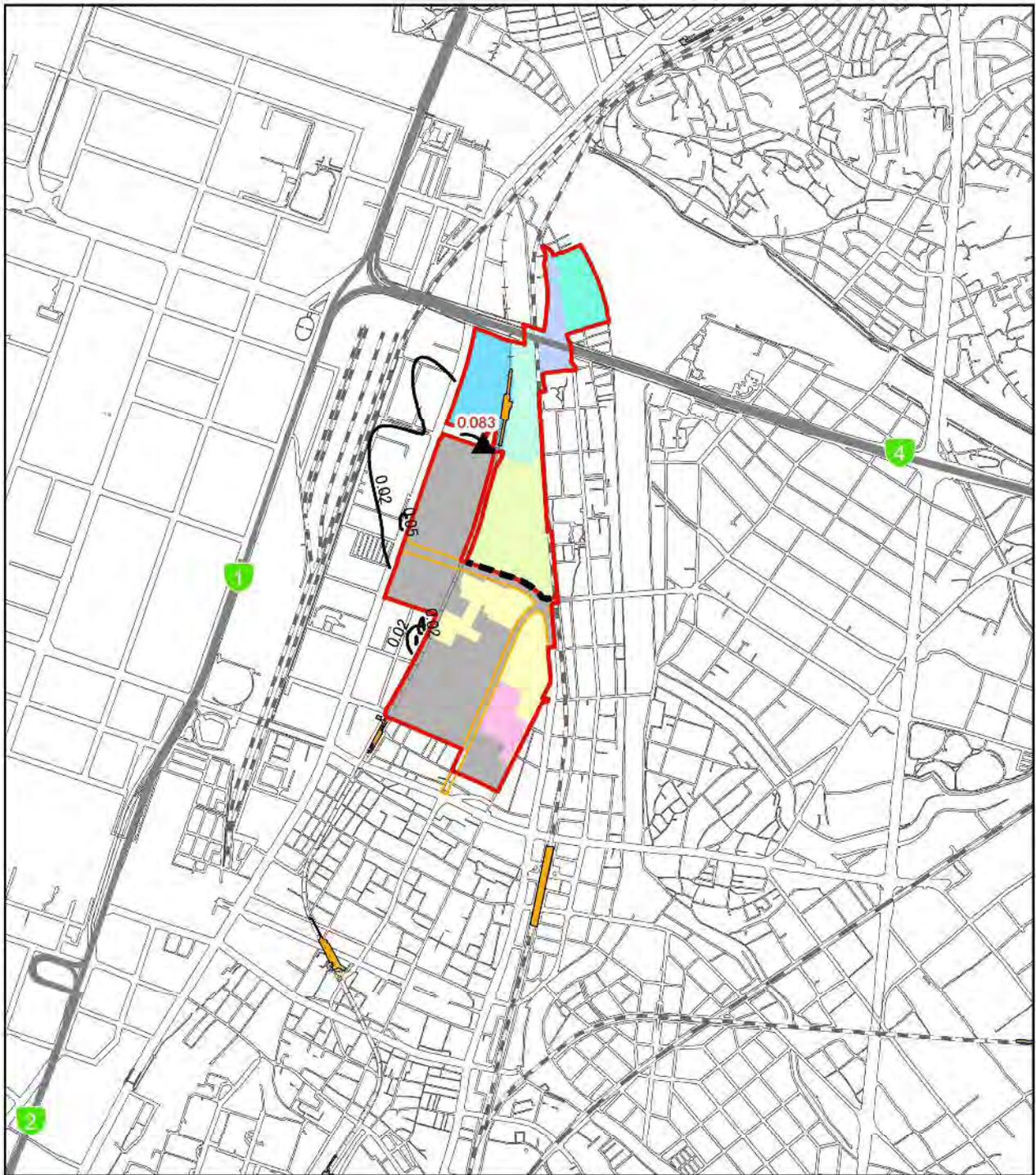
1:20,000



- 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 S 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(5) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質 (付加濃度) の予測結果  
(1 時間値): 風向 S 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度 (mg/m<sup>3</sup>): 風向 SSE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。  
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m<sup>3</sup> である。

図 1-4(6) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果  
(1時間値):風向 SSE 大気安定度 D (環境保全措置実施後)